

滝川市健康管理システム導入等業務
機能要件確認書

作成日 令和8年1月22日

作成者 滝川市健康こども未来部健康づくり課

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容> (1) 標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子健康 （養育施設以外）	母子健康 （養育施設のみ）			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.1.	0190001	住民基本台帳システムに、住民基本台帳情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 連携頻度はリアル・日次・月次とする ※3 支援措置対象者情報も連携できること。 住民情報システムと連携し、宛名情報の管理ができる。 転出者・変更者の住民データも、接続データの管理ができる。	◎	◎	◎	・住民基本台帳情報との連携要件を定めている。 自治体の運用やベンダーシステムの形態により様々な運用形態があるため、標準として必要と想定される要件を※で追記している。 ・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。		
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.1.	0190569	住民基本台帳システムに、住民基本台帳情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 連携頻度はリアル・日次とする ※3 支援措置対象者情報も連携できること。	◎	×	×	・住民基本台帳情報との連携要件を定めている。 自治体の運用やベンダーシステムの形態により様々な運用形態があるため、標準として必要と想定される要件を※で追記している。 ・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル「13ページA-1：接種対象者情報の登録（出生・転入）」 1：健康管理システム導入 上記にて住民連携は、リアル・日次が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムへ、予防接種対象者情報を連携するにあたり、日次以上の頻度で連携が想定されているため、機能IDは0190001から月次を削除したものである。	
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	-	0190570	住民基本台帳の異動情報を元に、予防接種対象者番号の採番ができること。 ※1 出生・転入時等を発行契機に新規採番できること ※2 番号体系は以下 市区町村等コード（6桁）＋対象者番号（15桁）の合計21桁	◎	×	×	・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル「13ページA-1：接種対象者情報の登録（出生・転入）」 1：健康管理システム導入 上記にて住民連携は、リアル・日次が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムへ、予防接種対象者情報をA-1：接種対象者情報の登録（出生・転入）にて、予防接種対象者番号の採番が必要であることから、新規追加した。	
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.3.	0190002	住民基本台帳システムに、住民基本台帳情報を照会する。 ※1 個人番号も連携すること（標準化対象事業が含まれ、連携による保持が必要な場合） データベースに個人番号、統合宛名番号を追加し、基幹システムと連携できる。	◎	◎	◎	個人番号はマイナンバーである。以下同様。		
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.4.	0190003	住民基本台帳の異動情報を元に、異動内容を確認できること。	◎	◎	◎			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.5.	0190004	文字要件については、「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕様書」の規定に準ずること。	◎	◎	◎			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.6.	0190005	個人住民税システムに、個人住民税情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 連携、参照する税項目を事業ごとに設定できること	◎	◎	◎	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。		
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.7.	0190006	個人住民税システムに、個人住民税情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	◎	◎	◎			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.7.	0190442	個人住民税システムに、個人住民税情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアルとする	○	○	○			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携		0190544	個人住民税情報から非課税世帯を判定できること。	○	○	○			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.8.	0190007	国民健康保険システムに、国民健康保険情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システムで利用できること ※2 異動内容をEUC機能等により確認できること	◎	×	×	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。		
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.9.	0190008	国民健康保険システムに、国民健康保険情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	◎	×	×			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.9.	0190443	国民健康保険システムに、国民健康保険情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアルとする	○	×	×			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.10.	0190009	後期高齢者医療システムに、後期高齢者医療保険情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システムで利用できること ※2 異動内容をEUC機能等により確認できること	◎	×	×	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。 ・機能ID0190571を実装する場合は、当要件は標準オプション機能とする。		
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.11.	0190010	後期高齢者医療システムに、後期高齢者医療保険情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	◎	×	×	・機能ID0190571を実装する場合は、当要件は標準オプション機能とする。		
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.11.	0190444	後期高齢者医療システムに、後期高齢者医療保険情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアルとする	○	×	×			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	-	0190571	後期高齢者医療広域連合電算処理システムより提供される後期高齢者医療の被保険者情報ファイルを取り込み、被保険者情報（後期高齢者医療）を健康管理システムで利用できること。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システムで利用できること	○	×	×	・当要件は後期高齢支援システムとファイル受け渡しの前提が行われている前提で利用できる機能要件である。後期高齢者医療広域連合より提供されるファイルを取り込む機能を想定している。 ・連携項目は「後期高齢者医療広域連合電算処理システム外部インターフェース仕様書」の被保険者情報ファイルに準拠することとする。 ・後期高齢支援システム標準仕様書において、被保険者情報は広域連合を主税とし、他システム連携はオプション機能と整理されていることから、追加を行っている。		
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	-	0190572	後期高齢者医療広域連合電算処理システムより提供される後期高齢者医療の被保険者情報ファイルを取り込み、被保険者情報（後期高齢者医療）を健康管理システムで利用できること。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	○	×	×			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.12.	0190011	生活保護システムに、生活保護情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 異動内容をEUC機能等により確認できること	◎	◎	◎	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。		
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.13.	0190012	生活保護システムに、生活保護情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする	◎	◎	◎			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.13.	0190445	生活保護システムに、生活保護情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアルとする	○	○	○			
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.14.	0190013	介護保険システムに、介護保険情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で利用できること ※2 異動内容をEUC機能等により確認できること	○	○	×	・具体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。		対象機能
1.健康管理共通	1.1.他システム連携	1.1.15.	0190014	介護保険システムに、介護保険情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアル・日次・月次とする	○	○	×			対象機能

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプシオン機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 （養育施設以外）	母子保健 （養育施設のみ）			
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190446	障害者福祉システムに、身体障害者手帳情報を照会する。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、健康管理システムで利用できること ※2 異動内容をEUIC機能等により確認できること	○	×	×	・身体的な連携項目は、デジタル庁が「機能別連携仕様」として定めている。		対象機能
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190447	障害者福祉システムに、身体障害者手帳情報を照会する。 ※1 連携頻度はリアル・日次・月次とする	○	×	×			対象機能
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190574	以下情報の区分を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ・生活保護区分 ・非課税区分 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_10.【予防接種】対象者管理」〔予システム連携情報〕参照	◎	×	×	・生活保護受給世帯や、非課税世帯により、減免であることを表す区分であり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 医療機関窓口において、対象者が減免対象かどうか、また自己負担額の案内ができるように、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、当該情報を連携する必要があることから、新規追加した。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190575	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・生活保護区分 ・非課税区分 ※1 「IFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「IFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190576	以下情報の区分を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ・中国残留邦人区分 ・障がい者区分 ・その他免除区分 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_10.【予防接種】対象者管理」〔予システム連携情報〕参照	○	×	×	・中国残留邦人であることや、障がい者有すること、その他要件により減免であることを表す区分であり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190577	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・中国残留邦人区分 ・障がい者区分 ・その他免除区分 ※1 「IFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「IFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること	○	×	×	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190578	以下情報の区分を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ・高齢者定期接種対象区分 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_10.【予防接種】対象者管理」〔予システム連携情報〕参照	◎	×	×	・B類疾病において、60～64歳で障がい者有することにより定期接種対象となることを表す区分であり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防情報、予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、動員条件や接種チェックに必要な情報であるため、新規追加した。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190579	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・高齢者定期接種対象区分 ※1 「IFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「IFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190580	以下情報の区分を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ・長期療養区分 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_10.【予防接種】対象者管理」〔予システム連携情報〕参照	◎	×	×	・長期療養により、定期接種対象期間を過ぎた場合でも定期接種として取り扱うことを表す区分であり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190581	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・長期療養区分 ※1 「IFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「IFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190582	以下情報の区分を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ・その他区分 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_10.【予防接種】対象者管理」〔予システム連携情報〕参照	◎	×	×	・その他の理由により、定期接種として取り扱うことを表す区分であり、市町村において対象有無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 （養育施設以外）	母子保健 （養育施設のみ）			
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190583	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・その他区分 ※1 「FIFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「FIFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190638	以下情報の区分を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ・海外接種区分 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_10.【予防接種】対象者管理」〔予システム連携情報〕参照	◎	×	×	・海外での予防接種履歴を持つ対象者を表す区分であり、市町村において対象者無を判断のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190639	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・海外接種区分 ※1 「FIFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「FIFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各減免区分、各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190640	以下情報の区分を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ・保護者氏名 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_10.【予防接種】対象者管理」〔予システム連携情報〕参照	◎	×	×	・接種対象者の保護者氏名。市町村において情報を確認のうえ管理する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムにて、付帯資格情報の登録が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190641	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・保護者氏名 ※1 「FIFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「FIFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・予防接種対象者情報として、左記付帯情報を提供する。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各減免区分、各対象者情報が想定されていることを受けての機能である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190584	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・不開示フラグ ※1 「FIFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「FIFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・情報開示制限をする目的であり、支援措置対象者、及び要配慮者に該当する情報である。 ・支援措置対象者や、要配慮者の管理機能は定義済。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に不開示フラグが想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防情報、予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、不開示情報の管理が必要であるため、新規追加した。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190585	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・通知対象外区分 ※1 「FIFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「FIFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・勧奨通知が実施されないようにする目的である。 ・通知対象外情報の管理機能は定義済。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 17ページ A-2：接種対象者情報の更新 1：健康管理システム導入 上記にて健康管理システムの「接種対象者情報更新要求」タスクにて示されている連携情報に各対象者区分が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防情報、予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、勧奨通知が実施されないようにするために管理が必要であるため、新規追加した。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190623	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報の区分を提供する。 ・生年月日不詳フラグ ※1 「FIFID_001 接種対象者情報の送信」に準拠すること	◎	×	×	・PWH-I0発行時の安全処理時、生年月日不詳者の安全エラーを回避するためのフラグである。 ・住基情報に含まれる「生年月日、不詳フラグ」のことである。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防情報、予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、PWH-I0の発行処理をすするために管理が必要であるため、新規追加した。 ※具体的な適合基準日は、R7の3.1版で定める予定。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190586	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・母子保健情報 ※1 以下IFに準拠すること FIFID SIF_H07_001 1歳6か月児健診結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_001 1歳6か月児健診結果の連携（CSV） FIFID SIF_H07_002 3～4か月児健診結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_002 3～4か月児健診結果の連携（CSV） FIFID SIF_H07_003 3歳児健診結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_003 3歳児健診結果の連携（CSV） FIFID SIF_H07_006 産婦健診健診結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_006 産婦健診健診結果の連携（CSV） FIFID SIF_H07_007 出産の状態に係る情報の連携（JSON） FIFID FIF_H07_007 出産の状態に係る情報の連携（CSV） FIFID SIF_H07_008 出生時状況の連携（JSON） FIFID FIF_H07_008 出生時状況の連携（CSV） FIFID SIF_H07_009 新生児聴覚検査結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_009 新生児聴覚検査結果の連携（CSV） FIFID SIF_H07_010 妊婦届出情報の連携（JSON） FIFID FIF_H07_010 妊婦届出情報の連携（CSV） FIFID SIF_H07_011 妊婦健診結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_011 妊婦健診結果の連携（CSV） FIFID SIF_H07_012 妊婦精健結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_012 妊婦精健結果の連携（CSV） FIFID SIF_H07_013 乳幼児精密健診結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_013 乳幼児精密健診結果の連携（CSV）	○	×	×	・乳幼児情報を予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに連携する機能である。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】H.その他」ファイル 27ページ H-7：母子保健・健診情報の連携 1：母子保健・健診情報の連携 上記にて健康管理システムから母子保健情報の連携が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防情報、予防接種記録管理／請求支払システムから予防接種DBに匿名情報として提供し、研究分野に活かすための情報連携として、新規追加した。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190587	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに、以下情報を提供する。 ・自治体検診情報 ※1 以下IFに準拠すること FIFID SIF_H07_004 子宮頸がん一次検診結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_004 子宮頸がん一次検診結果の連携（CSV） FIFID SIF_H07_005 子宮頸がん精密検査結果の連携（JSON） FIFID FIF_H07_005 子宮頸がん精密検査結果の連携（CSV）	○	×	×	・自治体検診情報を予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに連携する機能である。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】H.その他」ファイル 27ページ H-7：母子保健・健診情報の連携 1：母子保健・健診情報の連携 上記にて健康管理システムから健診情報の連携が想定されていることを受けての機能である。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 （養育医療以外）	母子保健 （養育医療のみ）			
1.健康 管理共 通	1.1.他 システ ム連携	1.1.16.	0190015	団体内統合宛名番号の付番依頼及び中間サーバーへの副本情報登録機 団体内統合宛名機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様 書」に規定する団体内統合宛名機能をいう。以下同じ。）における団 体内統合宛名番号の内部や宛名情報の更新のために、登録・更新した 宛名情報及び個人番号を団体内統合宛名機能へ連携できること。 団体内統合宛名機能を経由して、副本情報の登録等、中間サーバーとの 連携ができること。なお、中間サーバーとの連携のうち、中間サー バーから取得したURLを元にHTTPダウンロードする場合は、団体内統 合宛名機能を経由せず連携すること。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.1.他 システ ム連携	1.1.17.	0190016	マイナンバー制度における中間サーバーや団体内統合宛名機能へ副本 登録用のデータを作成し、連携できること。 ＜以下データ標準レイアウト＞ ・84 予防接種の実施に関する情報 ・90 胎がん検診（一次） ・91 胎がん検診（精密） ・92 乳がん検診（一次） ・93 乳がん検診（精密） ・94 胃がん検診（一次） ・95 胃がん検診（精密） ・96 子宮頸がん検診（一次） ・97 子宮頸がん検診（精密） ・98 大腸がん検診（一次） ・99 大腸がん検診（精密） ・100 肝炎ウイルス検診（一次） ・101 肝炎ウイルス検診（精密） ・102 骨粗鬆症検診（一次） ・103 骨粗鬆症検診（精密） ・104 歯周疾患検診（一次） ・105 歯周疾患検診（精密） ・88 新型コロナウイルス特措法 ※1 副本登録用データの作成・連携一括処理ができること ※2 住外宛名も連携できること ※3 前回連携データからの差分データを連携できること 情報提供ネットワークに副本データを連携できる。 『管理番号80 母子保健法による妊娠の届出に関する情報』 情報提供ネットワに副本データを連携できる。 『管理番号84 予防接種法による予防接種の実施に関する情報』 連携方法はXML-Soap、CSV-FTPの両方に対応できる。 自治体中間サーバーから出力される受合ファイル（ファイルID： F008-0016）とシステムに登録されている正本データを比較し、副本 登録の整合性をチェックできる。	◎	×	×	中間サーバーへの登録に係る要件を記 載している。		
1.健康 管理共 通	1.1.他 システ ム連携	-	0190448	マイナンバー制度における中間サーバーや団体内統合宛名機能へ副本 登録用のデータを作成し、連携できること。 ＜以下データ標準レイアウト＞ ・80 妊娠届出情報 ・86 妊産婦・乳児・幼児に対する健診に関する情報 ※1 副本登録用データの作成・連携一括処理ができること ※2 住外宛名も連携できること ※3 前回連携データからの差分データを連携できること	◎	◎	×	中間サーバーへの登録に係る要件を記 載している。		
1.健康 管理共 通	1.1.他 システ ム連携	1.1.18.	0190017	マイナンバー制度における中間サーバーや団体内統合宛名機能へ副本 登録用のデータを作成し、連携できること。 ＜以下データ標準レイアウト＞ ・12 養育医療情報 ※1 副本登録用データの作成・連携一括処理ができること ※2 前回連携データからの差分データを連携できること	○	×	◎	・中間サーバーへの登録に係る要件を 記載している。 ・機能概要要件の09.【母子保健】養 育医療管理にも記載の通り養育医療に 関しては地方自治体にて管理の有無が 分かれることから標準オプション機能 としている。		
1.健康 管理共 通	1.1.他 システ ム連携	1.1.19.	0190018	マイナンバー制度における情報提供ネットワークシステムより提供さ れる配信マスタを取り込みできること。	○	○	○	マイナンバーを利用した情報照会を行 う際に利用する機能は地方自治体の連 用により分かれるため、本機能要件に ついては標準オプション機能としてい る。 なお、副本登録する場合に配信マスタ を必要とするかはベンダのシステムに より異なるため、副本登録の意味合い においても標準オプション機能として いる。		
1.健康 管理共 通	1.1.他 システ ム連携	1.1.20.	0190557	マイナンバー制度における中間サーバーや団体内統合宛名機能へ情報 照会内容のデータ（情報提供依頼のデータ）を作成し、連携できるこ と。 ＜以下事務手続管理番号＞ ・10-17 予防接種法による予防接種の実施 ・93の2-1 新型コロナウイルス等対策特別措置法第46条第3項の 規定により読み替えて適用する予防接種法第6条第1項の予防接種の 実施に関する事務 ・76-1 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-2 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-3 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-4 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-5 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-6 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-7 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-8 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-9 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-10 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-11 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-12 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-13 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-14 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-15 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ・76-16 健康増進法による健康増進事業の実施に関する事務 ※1 連携できる事業（予防接種、乳幼児健診、がん検診等の単位） をパラメータで設定できること ※2 一括してデータ作成し、連携できること	◎	×	×		旧機能IDは0190019である。	
1.健康 管理共 通	1.1.他 システ ム連携	1.1.20.	0190558	マイナンバー制度における中間サーバーや団体内統合宛名機能へ情報 照会内容のデータ（情報提供依頼のデータ）を作成し、連携できるこ と。 ＜以下事務手続管理番号＞ ・49-25 母子保健法第10条の保健指導の実施又は勧奨に関する事 務 ・49-26 母子保健法第11条の新生児の訪問指導に関する事務 ・49-27 母子保健法第12条第1項の健康診査の実施に関する事務 ・49-28 母子保健法第13条第1項の健康診査の実施又は勧奨に関 する事務 ・49-29 母子保健法第17条第1項の妊産婦の訪問指導又は勧奨に 関する事務 ・49-30 母子保健法第19条の未熟児の訪問指導に関する事務 ・49-31 母子保健法第22条第1項の母子健康包括支援センターが 行う同条第2項第2号から第5号までに掲げる事業の実施に関する事 務 ※1 連携できる事業（予防接種、乳幼児健診、がん検診等の単位） をパラメータで設定できること	◎	◎	×		旧機能IDは0190019である。	
1.健康 管理共 通	1.1.他 システ ム連携	1.1.21.	0190020	マイナンバー制度における中間サーバーや団体内統合宛名機能から引 き渡される情報照会結果データを取り込み、情報照会結果を確認でき ること。 ※1 取り込んだ情報照会結果より、副本登録用のデータを作成し、 連携できること	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.1.他 システ ム連携	1.1.22.	0190021	マイナンバー利用サービスより受け付けた申請データのうちの管理 システム等以外の項目を、申請管理機能（「地方公共団体情報システム共 通機能標準仕様書」において規定する申請管理機能をいう。以下同 じ。）を経由して取得できること。 なお、経過措置として、「自治体の行政手続のオンライン化に係る申 請管理システム等の構築に関する標準仕様書（令和5年1月20日総 務省）」に規定される連携方式3、4により申請管理機能を経由して 取得することも許容される。また、管理が必要な項目とは、標準仕様 書における管理項目を想定しているが、標準仕様書における管理項目 が不足する場合には必要に応じて管理項目以外の項目を取得してもよ い。 申請管理機能がマイナンバー利用サービス等に対して申請処理 状況（処理中、要再申請、完了、却下、取下げのステータス）を送信 する場合に用いるため、取得した項目等を表示、出力等できること。 【対象事務】 ・妊娠の届出 ・総務省が策定した「自治体の行政手続きのオンライン化に係る申請 管理システム等の構築に関する標準仕様書」により実現している事務	◎	◎	×	「地方公共団体情報システム共通機能 標準仕様書」において、「自治体の行 政手続のオンライン化に係る申請管理 システム等の構築に関する標準仕様書 （令和5年1月20日総務省）」によ り策定された申請管理機能を有するシ ステムの継続利用が経過措置として認 められている。連携方式3、4に基づ く連携は本経過措置に基づく認められ るものであることに留意すること。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 （養育医療以外）	母子保健 （養育医療のみ）			
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携		0190624	公金受取口座（公約給付支給等口座）の利用の意思の有無（公金口座区分）を管理できること 公金受取口座の利用の意思がある場合には、申請又は給付の都度、情報提供ネットワークシステムを通じて公金受取口座登録システムから公金受取口座情報を自動で取得し、給付金等の振込先口座として利用できること。	○	○	×		妊婦のための支援給付における口座振込に利用する目的で要件を追加 ※標準仕様書間の相違ひ調整方針に準拠	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携		0190625	取得した公金受取口座情報を、他システム（公金受取口座の対象事務を処理するシステムを除く。）に提供できること	×	×	×		妊婦のための支援給付における口座振込に利用する目的で要件を追加 ※標準仕様書間の相違ひ調整方針に準拠	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190449	母子保健（養育医療以外）サブユニットに予防接種情報を提供する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする ※2 住在外者の予防接種情報も連携できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」 【各種予防接種の接種実績】参照	○	×	×	母子保健（養育医療以外）をサブユニットとした場合の要件である。 「健康管理システム」⇒「母子保健（養育医療以外）」への予防接種情報の連携を想定している。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190450	健康管理システムに予防接種情報を照会する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする ※2 住在外者の予防接種情報も連携できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」 【各種予防接種の接種実績】参照	×	○	×	母子保健（養育医療以外）をサブユニットとした場合の要件である。 「健康管理システム」⇒「母子保健（養育医療以外）」への予防接種情報の連携を想定している。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190556	生活保護システム及び生活保護版レセプト管理システムに健康診査情報を提供する。 ※1 連携頻度は日次・月次とする ※2 住在外者の健康診査情報も連携できること。 ※3 生活保護受給者の健康診査情報のみを抽出して連携できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_03.【成人保健】検診情報管理」【健康診査】参照	◎	×	×	機能ID0190192で管理する情報を提供する形を想定している。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190588	障害者福祉システムに精神障害者保健福祉手帳情報を提供する。	○	×	×	精神障害者保健福祉手帳を健康管理システムとして利用する場合の要件である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190589	障害者福祉システムに自立支援医療（精神通院医療）情報を提供する。	○	×	×	自立支援医療（精神通院医療）を健康管理システムとして利用する場合の要件である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190590	障害者福祉システムに自立支援医療（育成医療）情報を提供する。	○	×	×	自立支援医療（育成医療）を健康管理システムとして利用する場合の要件である。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190559	API連携により、PMHに予防接種対象者情報を提供する。 ※1 APIの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_V00G-E02_予防接種対象者情報登録API（自治体）」 ※2 日次（1日1回以上の頻度）で自動連携すること ※3 差分とすること	○	×	×	【第2.0版】検討会で議論の結果、当機能を追加 ・本要件はデジタル庁における「医療費助成・予防接種・母子保健にかかる情報連携の実証事業」の実証結果を踏まえて、引き続き検討を進める予定。 ・差分連携は令和6年度にデジタル庁が開発する予定であるが、API設計書が変更となる可能性がある点に留意すること。 ・PMH実証事業参画自治体向けの機能である	健康管理システムとPMHの連携については、総務省が規定する「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に、各自治体の情報セキュリティポリシー、ネットワーク構成等を踏まえ各自治体が個別判断すること。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190560	API連携により、予防接種記録情報を照会する。 ※1 APIの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_V00G-E06_予防接種結果情報登録API（自治体）」 ※2 全件取得、または期間指定による差分取得ができること	○	×	×	【第2.0版】検討会で議論の結果、当機能を追加 ・本要件はデジタル庁における「医療費助成・予防接種・母子保健にかかる情報連携の実証事業」の実証結果を踏まえて、引き続き検討を進める予定。 ・PMH実証事業参画自治体向けの機能である	健康管理システムとPMHの連携については、総務省が規定する「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に、各自治体の情報セキュリティポリシー、ネットワーク構成等を踏まえ各自治体が個別判断すること。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190591	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに予防接種対象者情報を提供する。 ※1 「FIFID SIF_A01_001 接種対象者情報の連携（JSON）」「FIFID FIF_A01_001 接種対象者情報の連携（CSV）」に準拠すること ※2 日次（1日1回以上の頻度）で自動連携すること ※3 差分とすること	◎	×	×	・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 13ページ A-1：接種対象者情報の登録（出生・転入） 1：健康管理システム導入 上記等にて健康管理システムから予防・請求システムへ、接種対象者情報連携が想定されていることを受けての機能である。 PMHから予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムへの移行に伴い要件を新規追加した。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 健康管理システムと予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムの連携については、総務省が規定する「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に、各自治体の情報セキュリティポリシー、ネットワーク構成等を踏まえ各自治体が個別判断すること。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190592	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに予防接種対象者情報を提供した結果を反映し確認できること。 ※1 「FIFID 003 接種対象者登録・更新エラー情報連携」に準拠すること	○	×	×		<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定>	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190593	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、期間を指定して予防接種記録情報を照会する。 ※1 「FIFID SIF_H03_001 接種記録の取得（JSON）」「FIFID FIF_H03_001 接種記録の取得（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】H.その他」ファイル14ページ H-3：接種記録の連携・照会・閲覧 1：接種記録の連携 上記等にて予防・請求システムから健康管理システムへ、接種記録連携が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 健康管理システムと予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムの連携については、総務省が規定する「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を参考に、各自治体の情報セキュリティポリシー、ネットワーク構成等を踏まえ各自治体が個別判断すること。 PMHから予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムへの移行に伴い要件を新規追加した。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190594	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、対象者を指定して予防接種記録情報を照会する。 ※1 「FIFID SIF_H03_001 接種記録の取得（JSON）」「FIFID FIF_H03_001 接種記録の取得（CSV）」に準拠すること	◎	×	×	・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】H.その他」ファイル14ページ H-3：接種記録の連携・照会・閲覧 1：接種記録の連携 上記等にて予防・請求システムから健康管理システムへ、接種記録連携が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定>	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム 連携	-	0190595	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、PMHに母子保健対象者情報を提供する。 ※1 JSONの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M01G-E02_妊婦健診対象者情報登録API（自治体）」 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M02G-E02_乳幼児健診対象者情報登録API（自治体）」 ※2 CSVの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「【PMH】0703_基本設計書_ファイル設計書_妊婦健診対象者情報登録用ファイル」 「【PMH】0703_基本設計書_ファイル設計書_乳幼児健診対象者情報登録用ファイル」 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M01G-E01_妊婦健診対象者情報登録API（自治体／CSV）」 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M02G-E01_乳幼児健診対象者情報登録API（自治体／CSV）」 ※3 日次（1日1回以上の頻度）で自動連携すること ※4 差分連携とすること	◎	◎	×	PMHとの連携に伴い機能を追加 ※令和6年度以降の先行実施の連携・令和7年度における電子版母子健康手帳のガイドラインの策定等を踏まえて、設定する。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康 管理システム	母子健康 （養育施設以外）	母子健康 （養育施設のみ）			
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190596	API連携により、PMHから母子保健対象者情報登録結果を照会する。 ※1 APIの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M01G-E04_妊婦健診対象者情報登録結果取得API（自治体）」 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M02G-E04_乳幼児健診対象者情報登録結果取得API（自治体）」 ※2 処理通番を指定して取得できること	○	○	×		PMHとの連携に伴い機能を追加	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190597	API連携により、PMHから母子保健健診結果情報を照会する。 ※1 APIの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M01G-E06_妊婦健診結果情報登録API（自治体）」 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M02G-E06d_乳幼児健診結果情報登録API（自治体）」 ※2 全件取得、または期間指定による差分取得ができること	○	○	×		PMHとの連携に伴い機能を追加	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190598	PMHから取得した母子保健健診結果情報（JSONまたはCSVデータ）を一括して取り込むことができること。 ※1 JSONの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M01G-E06_妊婦健診結果情報登録API（自治体）」 「【PMH】1800_基本設計書_API設計書_M02G-E06d_乳幼児健診結果情報登録API（自治体）」 ※2 CSVの仕様は、デジタル庁が規定する以下に準拠すること 「【PMH】0703_基本設計書_ファイル設計書_妊婦健診結果情報ファイル」 「【PMH】0703_基本設計書_ファイル設計書_乳幼児健診結果情報ファイル」	◎	◎	×		PMHとの連携に伴い機能を追加 ※令和6年度以降の先行実施の連携・令和7年度における電子版母子健康手帳のガイドラインの策定等を踏まえて、設定する。	
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	-	0190546	基本データリストに定めている範囲で、独自施策システムに情報を提供できること。	◎	◎	◎	独自施策システムとの連携における具体的な仕様は、データ要件・連携要件標準仕様書の独自施策システム等連携仕様の規定に準ずる。		
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	1.1.25.	0190024	他システムとの連携用データの取込や作成・送信は、あらかじめ指定したスケジュールに基づき、自動実行ができること。 また、自動実行した結果（正常異常、処理開始終了時刻、処理件数等）を確認できること。 住民異動処理、資格異動処理、パッケージ外の各種バッチ処理をWindowsの標準機能「タスクスケジューラ」を使用しないで、システム内でスケジュールとして登録、実行できる。 各種バッチ処理の実行時期として、日次、週次、月次、随時が選択できる。 各種バッチ処理の実行時期として、処理除外日が登録できる。 各処理が正常終了したのか、処理結果が画面表示できる。 バッチ処理結果はシステムログイン直後の総合メニューに表示されること。 結果を確認した処理に対して、消込みが行えること。 一定期間以上、結果が確認されていない処理に対して、アラートが表示される。 初期画面に本日の事業予定、自動運用バッチ処理状況・カレンダーが表示できる。 各種バッチ処理結果をシステム内で確認できること。また、必要に応じて再実行できる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.1.他 システム連携	1.1.26.	0190025	他システムとの連携用データの取込時や作成・送信時にエラーが発生した場合、エラー内容を確認できること。 ※1 エラー対応後、取込や作成・送信の再処理ができること。 各種バッチ処理結果をシステム内で確認できること。また、必要に応じて再実行できる。 各種バッチ処理は必要に応じて再実行できる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.1.	0190026	コードマスタを管理（登録、修正、削除、照会）できること。	◎	◎	◎	・健康管理システムの共通として管理するマスタを記載している。 コードマスタとして管理するコード項目は、各事業の機能・構築要件で定義している管理項目の範囲を想定しており、コード項目及び具体的なコード内容はデータ要件・連携要件標準仕様の基本データリストで定義される。		
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.2.	0190029	医療機関情報を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 事業ごとに医療機関の管理ができること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」〔医療機関情報〕参照 指定医療機関マスタ管理ができる。 上記項目について、指定医療機関の指定期間が設定でき、申請日が期間の範囲外の場合は該当機関、該当医師の入力ができない。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.2.	0190030	医療機関マスタを取り込み、登録ができること。 指定医療機関マスタ管理ができる。 上記項目について、指定医療機関の指定期間が設定でき、申請日が期間の範囲外の場合は該当機関、該当医師の入力ができない。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.3.	0190031	医療機関情報を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 医療機関情報から医療機関向けの宛名が作成できること	○	○	○			
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.4.	0190032	医療機関情報を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 社会保険診療報酬支払基金が定める医療機関コードと自治体独自の医療機関コードの2種類を管理できること	○	○	○			
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.5.	0190033	医療機関情報を一覧で確認できること。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能		0190626	金融機関マスタデータ（金融機関コード、金融機関漢字名称、金融機関名カナ、店舗番号、店舗漢字名称、店舗名カナ等）を登録、修正、削除、照会できること。 金融機関マスタデータを管理する権限を特定ユーザーに限定できること。 金融機関マスタデータを一覧で確認できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」の以下参照 〔金融機関情報〕 〔金融機関店舗情報〕	○	○	×		妊婦のための支援給付における口座振込関連の要件を追加 ※標準仕様書間の横並び調整方針に準拠	
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能		0190627	全国銀行協会フォーマットの様式を基に、金融機関マスタデータの一括更新が可能であること。 金融機関マスタデータ（金融機関有効開始日、金融機関有効終了日、指定金融区分コード、電子納付対応有無コード、店舗有効開始日、店舗有効終了日、本店支店区分、手形交換所番号、店舗郵便番号、店舗住所、店舗電話番号）を登録、修正、削除、照会できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」の以下参照 〔金融機関情報〕 〔金融機関店舗情報〕	○	○	×		妊婦のための支援給付における口座振込関連の要件を追加 ※標準仕様書間の横並び調整方針に準拠	
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.6.	0190034	集団健（検）診等の会場を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」〔会場情報〕参照	◎	◎	×			
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.6.	0190035	集団健（検）診等の会場を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 会場を行政区と紐づけて管理できること	○	○	×			
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.7.	0190036	会場を一覧で確認できること。	◎	◎	×			
1.健康 管理共通	1.2.マスタ管理機能	1.2.8.	0190037	通知書等の出力において、帳票単位で電子公印を管理できること。 ※1 印影は地方自治体の要求するサイズで管理できること ※2 職務代理者の公印も管理できること	◎	◎	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 （養育施設以外）	母子保健 （養育施設のみ）			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.9.	0190039	通知書等の出力において、印字する市区町村長名を管理でき、変更になる場合も対応できること。 ※1 通知書等に出力する場合は、設定された公印の種類に対応した名称を管理できること	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	-	0190451	通知書等の出力において、印字する保健所長名等を管理でき、変更になる場合も対応できること。 ※1 通知書等に出力する場合は、設定された公印の種類に対応した名称を管理できること	○	○	○			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	-	0190452	通知書等に印字する問合せ先・不服申し立て先を管理できること。	○	○	○			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.10.	0190041	通知書等の出力において、職務代理者を管理できること。 ※1 職務代理者を反映させる通知書等を帳票単位に指定できること ※2 ※1で指定した帳票に対して、職務代理者の一括反映有無を設定できること ※3 公印のみ印刷してある台紙に市区町村長名を印字する方式の場合、印刷する公印は変更せず、市区町村長名部分のみを職務代理者に変更できること	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.11.	0190042	通知書等の出力において、職務代理者を管理できること。 ※1 職務代理者の適用期間設定ができること	○	○	○			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.12.	0190043	システム操作者以外に、事業従事者（担当者）情報が管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[事業従事者（担当者）情報]参照 ※1 保健推進委員、民生委員等の委員についても管理できること	◎	◎	×			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.13.	0190044	事業従事者（担当者）情報が一覧で確認できること。	◎	◎	×			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.14.	0190045	地区の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[地区管理]参照 ※1 地区は住民記録の住所と紐付ができること ※2 事業や目的別に地区を抽出できること（行政区や学校区等） ※3 支所地区、保健区、行政区など、複数種類の地区を管理できること	◎	◎	×			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.15.	0190046	地区別に事業従事者（地区担当者）の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[地区管理]参照 ※1 地区毎に複数の地区担当者を管理できること。 ※2 地区毎の委員についても管理できること。 世帯単位で地区担当保健師、保健推進委員等の管理ができる。 担当保健師、保健推進委員の振付処理は、住基異動による自動振付処理、手操作振付処理ができる。 担当保健師、保健推進委員の自動振付処理は、マスタより世帯情報へ振付ができる。 振付条件については、住所コード、校区などパラメータで切替・設定できる。	◎	◎	×			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.16.	0190047	検査項目において基準範囲（下限、上限）の管理ができること。 ※1 検査項目ごとに、年齢や性別ごとに基準値が設定できること ※2 基準値が設定されている検査項目を参照画面で照会した際、基準値超過・基準値未満の確認ができること ※3 過去の検査結果に対する判定は、基準値が変更された場合、過去時点の基準値範囲で判定されたまま上書きされないこと 各検査項目について、基準値を年齢、性別毎に8段階まで設定できる。 各検査項目の基準値をユーザにて随時変更できる。 各検査項目について、基準値に基づいて自動判定し、判定別に色を変えて表示できる。 詳細照会画面にて、各検査項目について、基準値に基づいて自動判定し、判定別に色を変えて表示できる。	○	○	×			対象機能
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.17.	0190048	年間の事業予定（集団健（検）診等のイベント予定）を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 ※1 以下に関する事業の情報を管理できること 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[事業予定]参照	◎	◎	×			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.18.	0190049	年間の事業予定（集団健（検）診等のイベント予定）を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 ※1 従事者（担当者）の登録時、同一時間に重複していた場合、注意喚起（アラート）ができること	○	○	×			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.19.	0190050	年間の事業予定は一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.19.	0190051	年間の事業予定は一覧で確認できること（EUCができること）。 ※1 従事者（担当者）ごとに確認ができること。	○	○	×			
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.20.	0190052	事業の情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 ※1 当機能にて成人保健、母子保健における市区町村保健事業の追加、予防接種における任意接種や風しん抗体検査の追加ができること ※2 同じ業務でも複数の事業を実施している場合には、複数の事業が管理できること（例：栄養教室・放課教室・歯科教室） ※3 対象となる年齢および性別を管理できること ※4 対象となる年齢の基準日は任意に設定できること ※5 対象となる受診歴の間隔を任意に設定できること ※6 当機能にて追加した事業は、該当する分野（成人保健・母子保健・予防接種）の中において、既に登録されている事業と同様の取り扱いができること。 入力項目に初期設定項目の設定ができる。 予約申し込みを実施する事業について、対象者条件の設定ができること。対象者条件としては、性別・対象年齢範囲・対象年齢（例：40歳、45歳、50歳や回数/回数）・過去の受診歴とする。 予防接種法に従った設定（接種回数、開始年齢、接種間隔）ができる。 接種間隔の設定は、“月”または“日”での設定ができる。 追加される予防接種も随時追加登録ができる。 検診項目、問診項目とも事業報告に必要な項目は標準管理項目としてシステムで管理できる。 検診項目、問診項目とも、実施している検査項目を追加管理できる。	◎	◎	×	・健康管理は、地域特性により実施すべき事業に差が生じる分野となる。地域住民の健康を守るため、地方自治体の創意工夫により実施している事業がシステムで管理できないという機能低下を防ぐため、当該要件を設けている。 ・これら機能IDの「事業」とは成人保健では各がん検診や教育・訪問・指導等、母子保健では各健診や母子保健指導等を指す。 ・「予防接種管理番号」とは、予防情報、予防接種記録管理／請求支払システムにおいて、予防接種の種類や回数等を判別する番号である。連携に必要なため、番号管理の要件を設けている。		
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.20.	0190599	機能ID0190052に加えて、以下ができること。 ※1 予防接種においては、予防接種管理番号を管理できること	◎	×	×		<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防情報、予防接種記録管理／請求支払システムにおいて「予防接種管理番号」で予防接種の種類や回数を管理する。当番号を健康管理システムでも管理する要件を追加した。	
1.健康 管理共通	1.2.マ スタ管理 機能	1.2.21.	0190053	事業を一覧で確認できること。	◎	◎	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能	
					健康管理系统	母子保健 (養育施設以外)	母子保健 (養育施設のみ)				
1.健康 管理共 通	1.2.マ スタ管 理機能	1.2.22.	0190054	市区町村拡張運用における以下の対応ができること。 ※1 指針に示された事業の対象年齢の拡張 ※2 対象年齢の基準日は任意に設定できること ※3 指針に示された事業の節目年齢の変更 ※4 指針に示された事業項目以外の事業項目の追加 ※5 市区町村拡張事業の事業項目の追加 追加した事業項目について他の項目と同様に取り扱われること ※6 妊婦健診の単独助成（健診回数上乗せ） ※7 対象となる受診歴の間隔を任意に設定できること 検診項目、問診項目とも事業報告に必要な項目は標準管理項目としてシステムで管理できる。 検診項目、問診項目とも、実施している検査項目を追加管理できる。 プロフィール（既往歴、家族歴、職業歴、血液型、死因等）の情報を管理できる。 システムで管理している項目（検査項目等）をユーザにて随時追加・変更できる。 システムで管理している名称（例：病院名、診断名等）をユーザにて随時追加・変更できる。 生活のリズム「ミルグ（食事）」「睡眠」「遊び」などの情報を随時毎に管理できる。	◎	◎	◎				
1.健康 管理共 通	1.2.マ スタ管 理機能	1.2.23.	0190055	マスタ管理情報は、適用開始日、適用終了日による管理ができること。	○	○	○				
1.健康 管理共 通	1.2.マ スタ管 理機能	1.2.24.	0190056	機能・構築要件及び構築詳細要件に記載している「パラメータ」は、利用者が変更できること。	◎	◎	◎				
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	1.3.1.	0190057	住民記録情報（対象者および世帯員）を確認できること。 ※1 データの参照、データの取り込みは問わず、健康管理システム（サブユニット含む）で確認できればよい ※2 支援措置対象者情報も連携される場合は、支援措置対象者として識別できること 総合照会画面にて、該当者の情報が画面に表示されているとき、同一画面上に同一世帯員の名前を画面表示できる。 総合照会画面にて、同一世帯員の名前を押下するとその該当者の情報が画面表示できる。 総合照会画面にて、資格情報の履歴情報を画面表示できる。 総合照会画面にて、受診状況表示時、同一世帯の世帯員についても同時に受診状況を画面表示できる。 DV、虐待などの対象者に対してフラグ管理ができる。	◎	◎	◎				
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	1.3.2.	0190058	住民記録情報（対象者および世帯員）を確認できること。 ※1 世帯情報は一覧で表示できること ※2 世帯情報は、現住民と削除者を区別して表示できること 総合照会画面にて、住民情報の続柄を基に、簡易的な家系図を画面表示できる。 総合照会画面にて、家系図上に個人ごとの年齢、既往歴を画面表示できる。	◎	◎	◎				
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	1.3.3.	0190059	住登外者を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」〔住登外者情報〕参照 住登外者の管理を行うケースがあるため、宛名情報の追加・修正を手入力できる。	◎	◎	◎				
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	1.3.22.	0190060	住登外者宛名番号の付番依頼・管理機能 住登外者宛名番号の付番・管理に関して、以下の処理ができること。 ・住登外者宛名番号管理機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に規定する住登外者宛名番号管理機能をいう。）に対して対象者を照会し、照会結果を表示できること。 ・住登外者宛名番号の付番に際し、住登外者宛名番号管理機能より受領した照会結果に対象者が含まれる場合は、該当する住登外者宛名番号を当該対象者の宛名番号として管理し、その選択結果を住登外者宛名番号管理機能に対して連携できること。照会結果に対象者が含まれていない場合は、住登外者宛名番号管理機能に対して住登外者宛名番号の付番依頼ができること。 ・登録、更新した住登外者の宛名情報を住登外者宛名番号管理機能に対して連携できること。 住登外者の新規登録時には、システム宛名番号、世帯番号を自動付番できる。	◎	◎	◎	住登外者宛名番号管理機能のうち付番機能を健康管理システムに個別に実装する場合、以下のとおりとする。 ・健康管理システムと住登外者宛名番号管理機能のうち付番機能との間の連携については提供事業者の責任において対応することとし、必ずしもデータ連携機能の要件に定めたとおり、データ連携機能を実装する必要はない。 ・宛名番号を用いて住登外者に関する情報を他の基幹業務システムと連携することが想定されることから、健康管理システムと他の基幹業務システム間において、別人に同一の住登外者宛名番号を付番しないことを原則とするが、自治体の判断等にて住登外者に関する情報を他の基幹業務システムと連携しない運用を行う場合は、自治体の責任によって、基幹業務システムごと			
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	1.3.23.	0190061	住民の住所については住民記録システムから取得すること。 当該システムにおいて、住所登録が必要な場合は、住所マスタを保持すること。	◎	◎	◎				
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	1.3.4.	0190062	管理している住登外者について、住登者と同様に各業務の情報を紐づけて管理できること。	◎	◎	◎				
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	1.3.5.	0190063	住登外者の個人番号を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 ※1 所属や職員により利用権限設定できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」〔個人番号管理〕参照	◎	◎	◎				
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	1.3.6.	0190064	支援措置対象者を照会でき、気づける仕組みとすること。 ※1 所属（課や係等の単位）や職員（複数指定可）により利用権限設定できること DV、虐待などの対象者に対してフラグ管理ができる。 職員間での対象個人に対する、注意喚起・共有のため、システム画面上に色付きの付箋を貼り付けることができる。 付箋の色は全色から任意の色を選択でき、色毎に意味を持たせた運用を行うことができる。 付箋は「対応完了」として消込みが行える。 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員に要注意情報が登録されている場合についても注意喚起が表示される。 世帯員要注意情報の注意喚起から詳細内容の確認画面へ遷移することができる。 DV、虐待などの対象者については個人の照会時に住所が自動でマスクされ、住所漏えいを防止できる。 任意の条件を設定し、条件に該当する場合は注意喚起を表示することができる。 注意喚起の文言は来庁者の目に触れる可能性のある窓口業務を想定し、任意の内容で表示することができる。	◎	◎	◎				
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	-	0190565	要配慮者を管理（登録・修正・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」〔要配慮者情報〕参照	◎	◎	◎	支援措置対象者とは住民基本台帳事務における支援措置を指すため、独自の支援対象者という意味で要配慮者という名称を使用している。			
1.健康 管理共 通	1.3.デ ータ管 理機能	1.3.7.	0190065	個人単位及び事業単位で電話番号、携帯番号、E-mailアドレスの連絡先を管理でき、各事業の台帳画面や一覧抽出で表示できること。 ※1 連絡先備考も管理できること（架電の優先先、登録事業、登録者、勤務先や知人の情報等を管理するため） 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」〔個人連絡先〕参照 個人電話番号・E-mailアドレス・世帯電話番号の管理ができる。	◎	◎	◎				

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康 管理システム	母子保健 (養育施設以外)	母子保健 (養育施設のみ)			
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.8.	0190066	住基住所とは別に、送付先情報を管理（登録・修正・削除・照会）ができること。 ※1 送付先情報を利用目的単位で個人につき複数管理できること ※2 どの送付先情報を利用するかを帳票ごとに設定できること ※3 利用目的単位の送付先情報単位に登録事由（支援措置対象者や成年被後見人等）も管理できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[送付先情報]参照 送付先住所の管理ができる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.9.	0190067	登録した送付先の情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.11.	0190069	事業予定に対して、予約希望者の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 ※1 予約登録時、事業予定が既に定員に達している場合は注意喚起（エラー・アラート）できること ※2 予約登録時、参加要件を満たしていない場合は注意喚起（エラー・アラート）できること ※3 予約順に予約番号を採番・登録できること ※4 重複予約（同一日時に別の事業予約、同一事業を別の日時で予約）の確認ができること 【管理項目】 （別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[予約希望者管理]参照 申込み内容（健診方法・受診会場・受診日・健診項目）を個人単位で一面で入力できる。 予約申し込みの際に、上記で設定した対象者条件に適合するかのチェックができること。不適合の場合は警告メッセージが表示される 上記のチェック時の対象年齢は検診種別毎に設定できる。	○	○	×	事業に対する予約希望者の情報を管理する要件である。地方自治体の運用により予約希望者管理の必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。	対象機能（成人検診のみ）	
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.12.	0190070	事業予定に対して、予約希望者の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 ※1 複数回に渡る事業については、希望日程をまとめて予約登録できること 予約申し込みは、画面上で空き人数の確認ができる。	○	○	×			
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.13.	0190071	事業予定に対して、予約希望者の管理（登録、修正、削除、照会）ができること。 ※1 予約登録時に既に定員に達している場合、キャンセル待ちとして登録できること。 ※2 キャンセルが出た際に、キャンセル待ち一覧から個人を選択し、予約登録ができること。 予約申し込みにて申し込み枠を超過しても、キャンセル待ちとして登録できる。また、キャンセルが出た際に、キャンセル待ち一覧が表示され、その一覧から個人を選択し予約登録ができる。 予約申し込みは、画面上で空き人数の確認ができる。	○	○	×			
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.14.	0190072	予約済者を一覧で確認できること。	○	○	×			対象機能（成人検診のみ）
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.15.	0190073	複数の事業予定に対して、指定した対象者を割り振ることができること。 ※1 割り振る対象者は、EUC等で抽出可能であること 予約申し込みは、あらかじめ抽出機能で抽出した任意の対象者を呼び出して登録できる。	○	○	×			対象機能（成人検診のみ）
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.16.	0190074	事業の対象者に対して、現住民と転出や死亡等の消除者の区別ができること。 ※1 転出や死亡等の消除者を一覧で確認できること	◎	◎	×			
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.17.	0190075	事業の対象者に対して、転出や死亡等の消除者の区別ができること。 ※1 転出や死亡等の消除者について一括で予約解除ができること。	○	○	×			
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.18.	0190076	帳票の発行履歴を管理できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[帳票発送履歴情報]参照 ※1 帳票の再出力や問い合わせ対応を行うための管理となるため、住民への通知物を対象とする 通知書や受診券等を発送した人については、発送済のフラグをセットできる。 通知書や受診券等を発送した人については、「いつ何を発送したか」といった送付状況が照会できる。 受診票を発送した人については、一括で発送済のフラグをセットできる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.19.	0190077	帳票の発行対象外者を管理でき、気づける仕組みとすること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[帳票発行対象外者情報]参照	◎	◎	◎	健診受診票などの送付対象者に関して、住民の事情により発送不能となる帳票を管理する要件である。誤って発送対象に含まれていないか確認できる要件も含む。		
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	1.3.20.	0190078	帳票の発行対象外者を一覧で確認できること。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.3.データ 管理機能	-	0190547	法令年限及び業務上必要な期間（保存期間）を経過した情報について、標準準拠システムから物理削除できること。 個人番号利用事務においては、保存期間を経過した場合には、個人番号及び関連情報を標準準拠システムからできるだけ速やかに物理削除できること。 保存期間は、各地方公共団体が任意で指定できること。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台帳 管理機能	1.4.1.	0190080	対象者検索は、以下の項目を複数組み合わせることができること。 ・宛名番号 ・カナ氏名（通称名含む） ・漢字氏名（通称名含む） ・英字名 ・生年月日（西暦・和暦） ・性別 ・住所 ・方書 ・電話番号 ※1 特定の個人を検索する場合である。事業の対象者一括抽出については各要件に従うこと。 ※2 消除者も検索できること。 ※3 直近の検索履歴を残し、再検索できること 検索時に非住民（住民でない人：死亡者・転出者）を表示・非表示の選択ができる。 画面上で男性、女性、非住民（住民でない人：死亡者・転出者）が色分けて表示できる。 例）男性：青字、女性：赤字、非住民：黒字 個人検索は宛名番号、個人番号、生年月日（西暦・和暦）、カナ氏名などのキー項目を使用できる。 宛名番号バーコードを使用して、個人特定ができる。 個人番号、宛名番号（住基システム番号）、統合宛名番号のいずれでも検索できる。 個人検索において、共通の検索項目に加えて、養育医療の受給者番号、申請年月日、有効期間を条件に検索が行える。	◎	◎	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子健康 （養育施設以外）	母子健康 （養育施設のみ）			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	1.4.1.	0190081	対象者検索は、機能ID0190080に加えて、以下の項目と実装必須の項目を合わせて、複数組み合わせてできること。 ・地区 ・世帯番号 個人検索は、カナ、生年月日、性別、地区等での複合的な検索もできる 上記検索キー以外に任意の項目を検索キーとして設定できる。 検索キー例）受診券整理番号、特定保健指導番号、母子手帳番号 検索履歴が管理され、検索履歴より再度個人を検索・表示できる。 検索履歴は、次回ログイン時でも検索履歴が保持できる。	○	○	○			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	-	0190453	対象者検索は、機能ID0190080に加えて、以下の項目と実装必須の項目を合わせて、複数組み合わせてできること。 ・接種券番号	○	×	×			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	-	0190454	対象者検索は、機能ID0190080に加えて、以下の項目と実装必須の項目を合わせて、複数組み合わせてできること。 ・母子手帳番号	○	○	×			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	-	0190455	対象者検索は、機能ID0190080に加えて、以下の項目と実装必須の項目を合わせて、複数組み合わせてできること。 ・受給者番号（養育医療）	○	×	○			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	1.4.2.	0190082	氏名に関する検索は、住民記録システム標準仕様書に準拠した「あいまい検索」（異体字や正字も包含した検索を除く。）ができること。 カナ氏名検索では清音・濁音の区別なく検索できる。（“g”と“っ”、“ハ”と“バ”等） カナ氏名検索では小文字・大文字の区別なく検索できる。（“g”と“g”、“ニ”と“ニ”等） カナ氏名検索では姓名間のスペース有無の区別なく検索できる。（ニホン タロウニホンタロウ） カナ氏名検索ではワイルドカード検索できる。（ニホン *タロウニホン タロウ）	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	1.4.3.	0190083	対象者検索は、本名、通称名、英字名のいずれでも検索できること。 ※1 英字名は管理している場合に限る ※2 半角・全角を同一として検索できること	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	1.4.4.	0190084	対象者検索により、該当者が複数存在した場合は、該当者一覧を表示し、選択した明細で台帳画面に戻り対象者を確定できること。 個人検索において、抽出条件該当者が2名以上いる場合は一覧で表示できる。 抽出条件該当者が2名以上となり一覧表示される場合、該当者をクリックすることで個人を特定できる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	1.4.5.	0190085	各台帳画面で対象者を特定した際、支援措置対象者や要配慮者である場合は、気づける仕組みとすること。 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員に要注意情報が登録されている場合についても注意喚起が表示される。 世帯員要注意情報の注意喚起から詳細内容の確認画面へ遷移することができる。 DI、虐待などの対象者については個人の照会時に住所が自動でマスクされ、住所漏えいを防止できる。 任意の条件を設定し、条件に該当する場合は注意喚起を表示することができる。 注意喚起の文言は来庁者の目に触れる可能性のある窓口業務を想定し、任意の内容で表示することができる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	1.4.6.	0190086	各台帳画面で対象者を特定した際、各事業や申請種別により個人番号を確認できること。 ※1 個人番号を保持している場合の要件である ※2 所属や職員により利用権限設定できること 個人番号検索は、個人番号利用可能な事業のみ検索できる。 個人番号表示は、個人番号利用可能な事業のみ表示できる仕様とする。 ユーザごとに個人番号利用可否を設定できる。 データ移出手続きにて、個人番号管理テーブルを移出不可とする。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	1.4.7.	0190087	各台帳画面で対象者毎に、全事業共通、各事業のそれぞれのメモ情報を履歴で管理できること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[メモ情報]参照 ※1 対象者を特定した際、メモ情報が存在する場合は気づける仕組みとすること ※2 所属（課や係等の単位）や職員（複数指定可）により利用権限設定できること 照会照会画面にて、特記事項がある方はアイコンを画面表示できる。 対象個人の特記事項履歴の登録有無が一目で確認できる。 対象個人に相談履歴がある場合は注意喚起が表示される。 特記事項としてワープロ入力ができること。 特記事項のワープロ入力については改行コードを入力できる。 特記事項履歴の確認に加え、入力画面に遷移することができる。 相談履歴の確認に加え、入力画面に遷移することができる。	◎	◎	◎	個人に紐づくメモ情報及び世帯に紐づくメモ情報を管理する要件である。		
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	1.4.8.	0190088	各台帳画面で世帯毎に、全事業共通、各事業のそれぞれのメモ情報を履歴で管理できること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[メモ情報（世帯）]参照 ※1 対象者を特定した際、メモ情報が存在する場合は気づける 特記事項としてワープロ入力ができること。 特記事項のワープロ入力については改行コードを入力できる。 特記事項履歴の確認に加え、入力画面に遷移することができる。 相談履歴の確認に加え、入力画面に遷移することができる。 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員の特記事項履歴についても登録有無が一目で確認できる。 照会をかけた対象個人だけでなく、世帯員に相談履歴がある場合は注意喚起が表示される。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台帳管理 機能	1.4.9.	0190089	各台帳画面でWord、Excel等で作成した資料やPDF、画像ファイルを対象者と関連付けし管理できること。 ※1 対象者を特定した際、ファイルが存在する場合は気づける仕組みとすること ※2 データ移行の対象に含めること ※3 所属（課や係等の単位）や職員（複数指定可）により利用権限設定できること 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照 文書ファイル（Word、Excel、PowerPointにて作成したファイル。以下同様）を管理できる。 イメージファイル（PDF・JPEG等画像データ。以下同様）を管理できる。 個人単位、事業単位の文書ファイルとして管理できる。 文書管理を行うフォルダ構造は、Windowsのフォルダ構成と同様に構成化されている。 文書管理を行うフォルダ構造は、システム管理者にて任意のフォルダを追加できる。 文書管理を行うフォルダ構造は、5階層まで作成できる。 システム管理者にてフォルダ単位でのアクセス制御ができる。 アクセス制御はログインユーザー単位、グループ単位で設定できる。 ヤセファイル、イメージファイル、単独の画に、画像を共有ファイル、	○	○	○			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	興核区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子健康 （養育施設以外）	母子健康 （養育施設のみ）			
				文書ファイル、イメージファイル登録の際に、登録を行うファイルを選択できる。 文書ファイル、イメージファイル登録の際に、業務区分、事業区分を選択できる。 文書ファイル、イメージファイル登録の際に、任意の文書区分（タグ）を3つまで設定できる。 文書ファイル、イメージファイル登録の際に、登録者・登録日を自動でセットできる。 文書ファイル、イメージファイル登録の際に、コメントの入力ができる。 登録済みの文書ファイルは編集して追記できる。 登録済みの文書ファイルは、クライアントにダウンロードすることなく直接編集できる。 文書ファイル、イメージファイルについて、登録フォルダ、業務区分、事業区分、文書区分1～3、コメント、ファイル名、登録者・登録日・更新者・更新日にて複合検索ができる。 検索結果の一覧から文書ファイル・イメージファイルを一括でダウンロードできる。 検索結果の一覧から文書ファイル・イメージファイルを選択、一括削除できる。 各種資料を入力情報に関連付けて取り込むことができる。						
1.健康 管理共通	1.4.台 帳管理 機能	1.4.10.	0190090	再転入時や住登外者から住民登録者になることにより宛名番号が変更された場合、変更後の宛名番号へ過去の履歴を統合して、同一人物の情報として利用できること。 ※1 再転入時は、住民記録システム標準仕様書において、「従前使用していた宛名番号をそのまま引き継ぐこと」となっているが100%ではない。 ※2 宛名番号が変更となり、別人の情報となることを防止するために、宛名番号の置き換えにより同一人物の情報として扱うようにすること 再転入者において、以前の宛名番号にて管理しているデータを新しい宛名番号に継がることができる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台 帳管理 機能	1.4.11.	0190091	各事業の情報を一元的に照会できること。 総合照会画面にて、特定した個人が持っているデータに関係する検診名、事業名、システム名の概要を前面表示できる。 総合照会画面にて、過去の事業の受診日や総合判定等を前面表示できる。 総合照会画面から詳細照会画面へワンクリックで展開できる。 詳細照会画面にて、過去の各種健診結果が経年表示できる。 詳細照会画面にて、画面に表示するデータは、情報が入力されている健診受診年度から必要に応じて任意選択できる。 詳細照会画面にて、各種健診についてタブを分けて画面表示できる。 詳細照会画面にて、各種健診についてタブを選択するだけで他の健診情報を画面表示できる。 母親の保健事業履歴（妊婦健診、教室、相談、等）が集約され、一面面で確認できる。 母親の保健事業履歴の詳細を別ウィンドウで表示することができる。	◎	◎	×	健康管理の各事業は関連する情報をそれぞれで管理しているため、横断的に情報の確認ができる要件としている。		
1.健康 管理共通	1.4.台 帳管理 機能	1.4.12.	0190092	必須入力項目を容易に判別でき、誤入力防止として保存前にチェックし、エラーや警告のメッセージを表示できること。 ※1 データ要件の必須項目は、必須入力とすること 入力項目に必須入力項目の設定ができる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台 帳管理 機能	1.4.13.	0190093	データの登録、修正時にデータ型、桁数のチェック（エラー）ができること。 ※1 各管理項目のデータ型、桁数はデータ要件に準拠すること	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台 帳管理 機能	1.4.14.	0190094	データの登録、修正時に各管理項目間の整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台 帳管理 機能	1.4.15.	0190095	データの削除時に削除実行してよいかの注意喚起（アラート）ができること。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.4.台 帳管理 機能	1.4.16.	0190096	処理途中の状態から処理を中断する場合（保存前に検索や閉じるボタンを押下した場合等）は、中断前に注意喚起（アラート）を行うことで誤操作による中断を未然に防げること。 ※1 オンライン画面による一覧表示や一括登録処理の場合も同様の注意喚起（アラート）ができること	◎	◎	◎			
1.健康 管理共通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.1.	0190097	ＥＵＣ機能（「地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書」に規定するＥＵＣ機能をいう。）を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。 ＥＵＣ機能へ連携するデータ項目は「地方公共団体情報システムデータ要件・連携要件標準仕様書」の「基本データリスト（健康管理システム）」の規定に準うこと。（健康管理システムとＥＵＣ機能を同一のパッケージとして構築する場合については、基本データリストに定義されたデータ項目を利用できることを前提に、基本データリスト外のデータ項目の利用も可能とする。） なお、機能連携仕様に他業務から取得しているデータ項目については、基本データリストにないデータ項目であっても、データソースの対象とし、データの型、桁数等は連携元である他業務の基本データリストの定義に従う必要がある。 ※1 支援措置対象者や要配慮者が含まれている場合は気づけること。 一覧入力画面で入力したデータの確認用CSVファイルが出力できる。 フロー予定者の一覧を任意ファイルに登録できる。 医療機関等の外部機関へのデータ提供を想定したデータ移出ができる。 移出データは固定長、CSVの設定ができる。 移出データは日付・住所の編集のほか、接頭・接尾文字の付加、コード変換等の設定ができる。 移出力パターンを「出力形式（CSV、固定長）、区切り、見出し有無、文字形式（UTF8、S-JIS）」で設定できる。 移出力項目については、システムで管理している、項目を対象とし日付・住所の編集のほか、接頭・接尾文字の付加、コード変換等の設定ができる。 システム内のコード化された全ての情報を使用して抽出ができる。 事業をまたがった項目についても、同時に条件設定できる。 （例）住基情報での条件に加え、妊婦健診情報、乳がん検診情報も条件設定を行う） 抽出後に件数が表示できる。 抽出条件は「一致不一致」「範囲」「過去データとの比較」で、条件値が設定できる。 抽出条件は「かつ」「または」「のぞく」で設定できる。 抽出条件は制限なく設定できる。 一度設定した抽出の条件をシステム内にパターン登録できる。 登録された抽出の条件を呼び出した後も、自由に条件を変更できる。 抽出条件のパターン登録については、登録番号・コメント・作成者・作成日時情報が付与できる。 パターンの作成者については、システムログイン時のユーザ名が自動で登録できる。 該当者一覧データは、Excelへデータ連携できる。 抽出した該当者について、画面上で数値・コード・カナ・日付の項目にて並べ替えができる。 抽出された該当者は、任意にファイル登録ができる。 任意ファイルの作成については、ファイル名・コメントの登録及び登録人数・ログインユーザ名・作成日時の自動記録ができる。 任意ファイルから対象者抽出後、帳票を出力する処理では、ソート順に任意ファイルを作成した時点の登録順（SEQ）を設定できる。 登録されたファイル同士を「かつ」「または」「のぞく」などで条件設定ができる。 登録されたファイルは用途、検診種別毎など階層的（担当者別、事業別など）に整理でき、検索、追加、削除ができる。 該当者世帯主、一人暮らし、高齢者世帯の特異抽出条件設定ができる。 誕生月、世帯人数、国保区分履歴、成人健診対象者、初回受診者（2年連続未受診にて当年受診）など複雑な条件の特異抽出条件設定ができる。 一覧表の出力列数が設定できる。 名簿・宛名の設定条件については、システムにパターン登録できる。	◎	◎	◎	当要件は、健康管理共通として定義しており、各事業に付帯し必要とする要件は、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
1.健康 管理共通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.1.	0190098	ＥＵＣ機能による出力は、スケジュール管理（参照、登録、修正、削除）による自動実行ができること。 大量印刷で延間の業務に支援が出る場合、深夜に時間を設定し、自動実行（pdfファイルの作成、直接出力）させるための出力スケジュール登録ができる。 上記の出力結果については、初期画面のバッチ処理状況にも表示される。 再出力帳票選択機能（帳票出力後、同じ対象者に対して別の帳票出力が行える）がある。	○	○	○			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子健康 （養育施設以外）	母子健康 （養育施設のみ）			
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.2.	0190099	健康管理システム（サブユニット含む）のEUIO機能として、以下の共通要件を満たすこと。 ※1 年齢、BMI値など自動計算した項目についても、表示対象とすること ※2 任意の基準日時点の住民を抽出対象とできること	○	○	○			
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	-	0190456	EUIO機能で抽出した対象者宛名番号を保存し、再度呼び出すことができること。	○	○	○			
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	-	0190457	宛名番号を含む対象者リストを取り込むことができること。 ※ 取り込んだデータは機能ID00190097のEUIO機能で抽出条件として使用できること。	○	○	○	対象者リストとはcsvやExcelで作成されたファイル等を想定している。		
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.3.	0190100	各事業の任意の一覧抽出結果には、各台帳で管理している項目を表示できること。 ※1 コード項目は、コード値、日本語名称の表示を選択できること ※2 個人番号は含まない 抽出した該当者一覧を表示後、画面に表示する項目を設定できる。 一覧表については、任意の出力項目を選択できる。 一覧表の出力方式（コードor名称）、出力の長さ、項目の並び順、項目の選択・削除はボタン操作でできる。 該当者一般名簿については、ユーザ側で設定し印刷できる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.5.	0190102	各事業の一覧画面において、任意の一覧抽出結果から対象を選択して帳票を一括出力できること。 抽出した該当者一覧表示の同一画面上で、更に条件を与えての絞り込み検索ができる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.6.	0190103	各事業の任意の一覧抽出結果から宛名シール、窓空き宛名を一括出力でき、カスタマバーコードも印字できること。 ※1 カスタマバーコードは、印字有無をパラメータで設定できること 抽出した該当者について、宛名印刷・一覧印刷などの全ての帳票出力画面へ連携できる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.7.	0190104	同一世帯内に対象者が複数該当する場合は、世帯主1人分を出力できること。	○	○	×	世帯ごとに1通の発送物を送付する運用を想定した要件であるが、自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.8.	0190105	各事業の任意の一覧抽出結果では、支援措置対象者や要配慮者が含まれていた場合は気づける仕組みとすること。 総合照会画面にて、DV、虐待の対象者を照会時はアラートを画面表示できる。 総合照会画面にて、DV、虐待対象者のアラート表示内容を任意に設定できる。 抽出後にDV・虐待のフラグ有の件数も確認できる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.9.	0190106	各事業の一覧画面において、時間を要する検索条件が設定された場合は、検索処理の継続確認（アラート）ができる仕組みにすること。 ※1 検索前に表示件数を指定できる等により、検索に時間がかからない仕組みを含む	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.5.一 覧管理 機能	1.5.10.	0190107	各事業の一覧画面において、一覧表示できる上層を超えるデータを取得する検索条件が設定された場合は、エラーとして検索条件の再設定を促す仕組みにすること。 ※1 検索前に表示件数を指定できる等により、検索結果を分割して表示できるような仕組みを含む	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.1.	0190108	■帳票詳細要件 01、02■ 宛名を出力するときは、窓空き封筒に対応でき、カスタマバーコードを印字できること。 ※1 通知書等のみならず、宛名印刷、宛名シールも対応できること ※2 カスタマバーコードは、帳票単位に印字有無を設定できること 宛名シール印刷時に、カスタマバーコードが印刷できる。	◎	◎	◎	健康管理共通として出力できる帳票として2種類を定義している。専用帳票が定義されていない場合においても、各事業の情報をEUIO機能により抽出後、宛名シールもしくは宛名印刷で対応することを想定した要件となっている。		
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	-	0190458	外国人の氏名を出力する際、機能ID00190001で連携される氏名優先区分に従って、本名・通称名の出力制御ができること。 ※1 氏名優先区分に設定がない場合には、住民記録システム標準仕様書に記載の優先順に準拠して表示されること	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.2.	0190109	宛名部分は、送付先情報を優先して印字できること。 ※1 送付先情報を優先して印字するかしないかを選択できること 送付用宛名・住所がある方は送付用宛名・住所を優先し、出力できる	◎	◎	◎	送付先情報が登録されている住民については、送付先情報を優先して宛名を印字するための要件である。		
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.3.	0190110	公印が必要な帳票を出力する場合は、電子公印を印字できること。 ※1 帳票単位で設定した電子公印を印字すること ※2 公印の印字有無をパラメータで設定できること ※3 職代理理者の公印印字も対応できること	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.4.	0190112	文書番号を伴う通知書出力時は、手入力した文書番号を前後の記号文字も含めて印字できること。	○	○	○	健康管理において申請に関する業務は少ないことから、文書番号の印字要件は標準オプション機能としている。		
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.5.	0190113	通知書出力時は、発行日は任意で設定し、印字できること。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.6.	0190114	印刷時（PDFファイル保存時を含む）は印刷するかプレビューかが選択できること。 出力内容をプレビュー表示し、必要なページのみ印刷できる。 プレビュー表示を行わずにプリンタに直接出力、PDFの作成ができる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.7.	0190116	印刷時は電子ファイルでの保存が選択できること。 ※1 ExcelやWord形式等での保存ができること 帳票の出力時にExcel、PDF形式の出力方法に対応できる。	○	○	○			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.8.	0190117	帳票の再出力を随時できること。 ※1 住民への通知物を対象とする	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.9.	0190118	帳票の一括出力時の出力順は任意で指定できること。 ※1 具体的な出力順は、事業や帳票種類により異なるため共通要件としては定めない 一覧表の出力順・改頁条件が自由に設定できる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.9.	0190119	帳票の一括出力時の出力順は任意で指定できること。 ※1 出力順の保存、呼び出しができること	○	○	○			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.10.	0190120	通知書等の帳票を一括出力する時、支援措置対象者や要配慮者が含まれていた場合は気づける仕組みとすること。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.11.	0190121	通知書等の帳票を一括出力する時、転出や死亡等の消除者、住登外者を除いて出力できること。 必要に応じて、転出、死亡等の消除者を除いて印刷できる。	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	-	0190459	通知書等の帳票を出力してから住民へ発送するまでの間に、転出や死亡等も削除された者（書き取り対象者）を一覧で確認できること。 （EUIOができること）	◎	◎	◎			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.13.	0190123	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについてCSV形式のテキストファイルを作成し、出力できること。 二次元コード（カスタマバーコードを含む。）については、二次元コードの値をファイルに格納すること。	◎	◎	◎	機能ID00190126で作成した帳票の印字項目も含めて、印刷事業者等へ渡すためのデータ出力を想定している。		
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.13.	0190124	帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについて印刷イメージファイル（PDF形式等）を作成し、出力できること。	○	○	○	機能ID00190126で作成した帳票の印字項目も含めて、印刷事業者等へ渡すためのデータ出力を想定している。		
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.14.	0190125	大量枚数を印刷する場合に、頁を指定して、分割印刷できること。	○	○	○			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康 管理システム	母子保健 （養育施設以外）	母子保健 （養育施設のみ）			
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.15.	0190126	帳票レイアウト、帳票詳細要件に定められた帳票以外は、以下の対応が可能であること なおシステムからは印字用データを出し、※1～※8をシステム外機能を活用して実装することも可とする ※1 帳票の追加削除がユーザ操作でできること ※2 帳票レイアウトはユーザ操作で設定できること ※3 印字する管理項目はユーザ操作で設定できること ※4 印字位置はユーザ操作で設定できること ※5 設定した帳票レイアウトは保存できること ※6 カスタマバーコードが出力できること ※7 宛番番をバーコードで出力できること ※8 通番を出力できること 宛名シール印刷時に、カスタマバーコードが印刷できる。 宛名シールに宛名情報（郵便番号、住所、氏名）、任意の文字が入力・出力できる。 宛名シールについて、各出力項目の詳細設定ができる。 例：フォント、フォントサイズ、出力開始位置、接頭語・接尾語（例：姓、姓方等）、年齢計算単位 宛名シールの印字位置（宛名、住所等の印字位置）は任意で設定できる。 宛名シールの印字位置調整は、マウス操作での移動・配置ができる。 宛名シールの印刷は、一人の住民に対しての複数枚印刷が設定できること。 宛名シールに宛番番をバーコードに変換して印刷できる。 宛名シール印刷時に、使い途中のシールが活用できるよう、印刷開始場所が設定できる。 宛名印刷は、宛名シールだけでなく、ハガキ・封筒への直接印刷もできる。 宛名印刷は、ユーザ側で設定し印刷できる。 Excelでデザインした帳票をシステムに取り込み、システムで管理している項目（住民情報、検診情報）を任意で設定し、システムから印刷できる。 Excelでデザインした帳票に変更があった場合は、Excelで雛形をメンテナンスし変更できる。 帳票作成時にExcelの機能（書式設定、数式、関数、グラフ等）を活用できる。 帳票作成時にPDFファイル形式を選択した場合は、シェイプの出力もできる。 バーコード（Code39、CODABAR（NW-7）、カスタマバーコード、およびQRコード）の出力ができること。 バーコードのサイズはJIS規格をもとに算出した値で出力できる。 ※出力プリンタや読取機によって精度が異なるため、環境に応じたサイズ設定ができる。 フォロー情報等、年度内に複数回登録する情報については、回数を指定して経過を出力できる。 例）フォロー対象者を抽出し、フォロー情報を過去5回分出力する。 Wordでデザインした帳票をシステムに取り込み、システムで管理している宛名情報を任意で設定し、システムから印刷できる。 Wordでデザインした帳票に変更があった場合は、Wordで雛形をメンテナンスし変更できる。 出力項目の設定を画面上で出来ること。またすべてユーザにて操作できる。 出力項目に関してフォント、日付や年齢の出力形式、接頭文字・接尾文字が設定できる。 よく使う出力項目をまとめてパターンとして登録できる。 任意の文字列を画面上より入力し、出力できる。 バーコード（Code39、CODABAR（NW-7）、およびカスタマバーコードに対応）の出力ができる。 上記について、バーコードのサイズはJIS規格をもとに算出した値で出力できる。 ※出力プリンタや読取機によって精度が異なるため、環境に応じたサイズ設定ができる。 印刷したデザインをパターンとして登録でき、再利用ができる。 子供の情報を抽出し、母親の情報（妊娠時の情報など）を並べて出力できる。 例）児の3ヶ月健診の結果を条件に抽出し、母の妊娠経過の情報を出力する。 母親情報について、妊娠健診、フォロー情報等の年度内に複数回登録する結果は、回数を指定して出力できる。 例）児の出生時情報を条件に抽出し、母の妊娠健診の情報を過去5回分出力する。	◎	◎	◎	・地域住民の健康維持及び向上を目的として地方自治体が創設工夫をしている帳票デザインが、標準化に伴い使用できない事態を防ぐために、汎用的な帳票出力を可能とする要件である。 ・システムでは印刷用データ出力のみを実施しWordで差込印刷するなど、一部のシステム外機能を活用した方法であっても、※1～※8すべての対応が可能であれば要件を満たすこととなる。		
1.健康 管理共 通	1.6.帳 票出力 機能	1.6.15.	0190127	帳票レイアウト、帳票詳細要件に定められた帳票以外は、以下の対応が可能であること ※1 再出力時には、再発行であることがわかる印字ができること	○	○	○			
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	1.7.1.	0190128	訪問対象者を抽出できること。（EUCができること）	○	○	×	当要件は、健康管理共通として訪問事業を定義しており、各事業に付帯して必要とする要件は、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	1.7.2.	0190129	訪問申込情報の管理（登録・更新・削除・参照）ができること。 ※1 同一世帯の訪問状況を容易に把握できること。	◎	◎	×	各事業（成人保健、母子保健）の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	1.7.3.	0190130	訪問申込情報を一覧で確認できること。（EUCができること）	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	1.7.4.	0190131	訪問結果情報の管理（登録・更新・削除・参照）ができること。	◎	◎	×	各事業（成人保健、母子保健）の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している		
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	-	0190548	訪問結果情報の管理（登録・更新・削除・参照）ができること。 ※1 結果情報を一括して登録できること。	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	1.7.6.	0190133	訪問結果情報を一覧で確認できること。（EUCができること）	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	-	0190460	OCR処理等を介して、訪問結果情報を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR処理等を介して作成したデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	-	0190461	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 （別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】「[電子ファイル]参照	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	-	0190462	訪問結果情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.7.訪 問情報 管理機 能	-	0190463	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.8.健 康相談 情報管 理機能	1.8.1.	0190134	相談対象者を抽出できること。（EUCができること）	○	○	×	当要件は、健康管理共通として相談事業を定義しており、各事業に付帯して必要とする要件は、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
1.健康 管理共 通	1.8.健 康相談 情報管 理機能	1.8.2.	0190135	相談申込情報の管理（登録・更新・削除）ができること。 ※1 事業予定が組まれているものについては、事業予定を指定して登録できること ※2 対象者（予約者）が事前に登録されている場合、その対象者一覧から登録する住民を指定、情報の登録ができること	◎	◎	×	各事業（成人保健、母子保健）の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している		
1.健康 管理共 通	1.8.健 康相談 情報管 理機能	1.8.3.	0190136	相談申込情報の一覧を確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理系统	母子保健 （養育施設以外）	母子保健 （養育施設のみ）			
1.健康 管理共 通	1.8.健 康相談 情報管 理機能	1.8.4.	0190137	相談結果情報の管理（登録・更新・削除）ができること。 ※1 同一人物が同日に複数回を実施した場合でも管理ができること ※2 担当者（従事者）はマスク管理されている従事者から選択できること ※3 世帯構成を確認できること 同日に複数回訪問や相談を実施した場合でも情報を分けて管理できる。	◎	◎	×	各事業（成人保健、母子保健）の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している		
1.健康 管理共 通	1.8.健 康相談 情報管 理機能	1.8.6.	0190139	相談結果情報を一覧で確認ができること。（EUCができること）	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.8.健 康相談 情報管 理機能	-	0190464	OCR処理等を介して、相談結果情報を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR処理等を介して作成したデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
1.健康 管理共 通	1.8.健 康相談 情報管 理機能	-	0190465	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.8.健 康相談 情報管 理機能	-	0190466	相談結果情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.8.健 康相談 情報管 理機能	-	0190467	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	1.9.1	0190140	教育対象者を抽出できること。（EUCができること）	◎	◎	×	当要件は、健康管理共通として教育事業を定義しており、各事業に付帯して必要とする要件は、各事業の機能・帳票要件に定義している。		
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	1.9.2	0190141	教育申込情報の管理（登録・更新・削除・参照）ができること。 ※1 教育の受付と同時に出席登録ができること。	◎	◎	×	各事業（成人保健、母子保健）の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している		
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	1.9.3	0190142	教育申込情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	1.9.4	0190143	教育結果情報の管理（登録・更新・削除・参照）ができること。	◎	◎	×	各事業（成人保健、母子保健）の管理項目については、各事業の機能・帳票要件に定義している		
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	1.9.5	0190144	教育結果情報の管理（登録・更新・削除・参照）ができること。 ※1 コース事業は、コース事業として管理ができること。（次回事業の受付がされること）	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	1.9.6	0190145	教育結果情報を一覧で確認ができること。（EUCができること）	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	1.9.7	0190146	申込通知が出力できること。（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×	帳票出力に関する機能要件ではあるが、国で様式等が定まっておらず、また地方自治体の運用による部分が大きいため、帳票レイアウト及び帳票詳細要件を定めない。機能ID0190126の機能を活用し、ユーザで帳票レイアウト等を定義することとしている。		
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	-	0190468	OCR処理等を介して、教育結果情報を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR処理等を介して作成したデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	-	0190469	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	-	0190470	教育結果情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.9.教 育情報 管理機 能	-	0190471	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.10.フ ォロー 情報管 理機能	1.10.1.	0190149	要フォロー者を指定して、フォロー予定情報が管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 対象者の住所に該当する地区担当者（従事者）をフォロー担当者に設定できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[フォロー状況情報]参照 フォロー対象者情報として把握経路、フォロー時期、方法状況などを管理できる。 フォロー状況として、「フォロー中」、「フォロー完了」、「フォロー情報なし」の3つの状態を消込区分で管理できること。 フォローの情報を管理できる。 （フォロー予定日、フォロー実施場所、フォロー内容、フォロー事業など） フォロー情報は、最新情報だけでなく履歴管理ができる。	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.10.フ ォロー 情報管 理機能	1.10.2.	0190150	フォロー者を個別に管理でき、気づける仕組みとすること。 ※1 所属（課や係等の単位）や職員（複数指定可）により利用権限設定できること ※2 対象者の住所に該当する地区担当者（従事者）をフォロー担当者に設定できること フォロー状況は、個人照会画面でフォロー完了、フォロー中のアイコンが画面表示できる。 当日のフォロー実施予定（フォロー予定者、事業名、予定時間、フォロー担当者）が、初期画面表示できる。 当月のフォロー実施予定がある日はカレンダー上にアイコンが画面表示できる。 フォロー状況（フォロー中、フォロー済）、次回フォローの予定日が表示される。	◎	◎	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	電子健康 （養育施設以外）	電子健康 （養育施設のみ）			
1.健康 管理共 通	1.10. フォ ロー情 報管理 機能	1.10.3.	0190151	要フォロー者を指定して、フォロー結果（実績）情報が管理（登録・更新・削除・照会）できること ※1 フォロー結果はフォロー内容（指導内容等）ごとに複数管理できること。 ※2 不在等によりフォローが実施できなかった場合でも登録ができること。 ※3 継続フォローとなる場合、結果登録時に次回予定が登録できること。 ※4 フォローの経過が経年的に照会できること。 ※5 フォロー済者のフォロー結果を一括登録できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」【フォロー状況情報】参照 フォロー情報は、最新情報だけではなく履歴管理ができる。 フォロー情報の入力画面に遷移することができる。	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.10. フォ ロー情 報管理 機能	1.10.4.	0190152	フォロー情報を一覧で確認できること（EUCができること）。 ※1 フォロー情報は予定・結果両方を含む ※2 未フォロー者のみで絞り込みができること フォロー情報（把握経路、フォロー予定日（月）、フォロー方法）を条件に対象者の抽出ができる。 フォロー対象者名簿が作成できる。 フォロー予定者の一覧をExcelファイルに出力できる。 フォロー予定者の一覧を任意の帳票に出力できる。	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.10. フォ ロー情 報管理 機能	1.10.5.	0190153	住民ごとに、フォロー記録を記録票として出力できること（機能100190126に準じて出力）。	◎	◎	×			
1.健康 管理共 通	1.10. フォ ロー情 報管理 機能	-	0190472	OCR処理等を介して、フォロー情報を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること。 ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×	※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 OCR処理等を介して作成したデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
1.健康 管理共 通	1.10. フォ ロー情 報管理 機能	-	0190473	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」【電子ファイル】参照	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.10. フォ ロー情 報管理 機能	-	0190474	フォロー情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.10. フォ ロー情 報管理 機能	-	0190475	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.11. 実施報 告書管 理機能	1.11.1.	0190154	事業実施報告書（日報）の管理（登録・更新・削除・参照）ができること。 ※1 個人を特定せず事業の実施内容、参加人数等が登録できること ※2 登録結果は機能100190436にて集計可能とすること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」【実施報告書（日報）情報】参照	○	○	×	実施事業の日報等を管理する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
1.健康 管理共 通	1.11. 実施報 告書管 理機能	1.11.2.	0190155	実施報告書（日報）情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.11. 実施報 告書管 理機能	1.11.3.	0190156	実施報告書（日報）が出力できること（機能100190126に準じて出力）。	○	○	×			
1.健康 管理共 通	1.11. 実施報 告書管 理機能	1.11.4.	0190157	職員間で伝言を送受信できること。 ※1 伝言として、重要度、掲載期限、伝言内容を設定できること ※2 複数名の職員に対して伝言を一斉送信できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」【伝言情報】参照 ユーザ間の情報共有ツールとして、お知らせ機能（伝言）がある。 伝言登録については、重要度、掲載期間、表示元ユーザを設定できる。	○	○	○			

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3. 本仕様の内容> (1) 標準化範囲内の類型に記載の

「類型 1（実装必須機能）、類型 3（標準オプション機能）について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	2.1.1.	0190158	希望調査票送付対象者を指定条件で抽出し、一覧を確認できること（EUCができること）。 ※1 機能ID0190161と同等の抽出条件の設定ができること	○	検診受診希望者の管理に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	2.1.2.	0190159	検診ごとに、希望調査結果情報を登録・更新できること。 ※1 複数検診の希望結果を一括で登録・更新できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_02.【成人保健】対象者管理」[希望調査結果]参照	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	-	0190476	希望調査結果情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	-	0190477	OCR処理等を介して、希望調査票を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。		
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	-	0190478	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	-	0190479	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.1.希望調査管理機能	2.1.3.	0190160	検診の受診希望者を地区別管理できること。 ※1 受診希望者を地区別に割り振ることができること ※2 受診希望者を受診会場別に割り振ることができること ※3 割り振り後、手動で調整ができること	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.1.	0190161	検診ごとに対象者を指定条件で抽出し、一覧で確認できること（EUCができること）。 ＜抽出条件について＞ ※1 任意の基準日時点の住民を対象とできること ※2 任意の基準日で年齢計算ができること ※3 年齢計算は、暦による期間の計算（民法第143条第2項の計算）ができること ※4 年齢範囲を設定できること ※5 奇数年、偶数年、節目年の設定ができること ※6 年齢基準日は、年度末年齢、受診時年齢の設定ができること ※7 性別を設定できること ※8 当該年度の受診状態を参照した抽出ができること ※9 過年度の受診状態を参照した抽出ができること ※10 当該年度の申込状態を参照した抽出ができること 検診対象者の設定を年齢・性別・抽出機能で抽出した集団をもとに設定できる。 入力した対象判定については次年度にスライドできる機能があること。 年度途中の転入者、対象年齢到達者への追加判定自動振付（もしくは手動振付）ができる。 検診毎に対象判定の集計処理ができること。 年齢・性別、資格等の各種条件より対象者を抽出できる。 例）がんクーポン対象者、節目年齢健診等。 任意に設定する条件に添って、初回・非初回の受診者が抽出できる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	-	0190563	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 HPV検査単独法のアルゴリズムに準じた抽出ができること	◎	HPV検査単独法のアルゴリズムとは、第40回がん検診のあり方に関する検討会資料1「子宮頸がん検診へのHPV検査単独法導入について」の5頁に示されているアルゴリズムである。	「がん検診のあり方に関する検討会」における議論を踏まえて、令和6年2月14日付けで指針において推奨される子宮頸がん検診にHPV検査単独法が追加された。	
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.1.	0190162	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 過年度の申込状態を参照した抽出ができること	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.2.	0190163	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 国保資格を参照した抽出ができること	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.3.	0190164	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 後期高齢資格を参照した抽出ができること	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.4.	0190165	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 生活保護を参照した抽出ができること	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.5.	0190166	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 住民税情報を参照した抽出ができること	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.6.	0190167	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 複数検診を組み合わせた抽出ができること	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.7.	0190168	機能ID0190161に加え以下ができること ※1 以下に該当する者は抽出から除外できる ・機能ID0190077に該当する者は抽出から除外できること	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.2.検診対象者抽出機能	2.2.8.	0190169	抽出時に、抽出条件を保存し、次回利用時に呼び出せること	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.1.	0190170	電話や窓口等で検診希望受付をした場合に、申込情報の登録・更新・削除ができること。 ※1 当該年度に未受診の検診に対してのみ登録できること ※2 年度ごとに申込歴を管理できること ※3 事情により対象外となる場合、その情報を管理できること ※4 「実施日」が空白であることが気づける仕組みであること。 (個別検診受付時等、実施日の入力が不要なケースを想定) 【管理項目】 「(別紙2-2)管理項目_01.【共通】」[予約希望者管理]参照 対象判定(対象者管理)として未受診理由等を管理できる。 検診希望者については、受診希望医療機関や受診希望会場の登録ができる。 スケジュール一覧より検診予定日を選択して予約情報が参照・入力できる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.1.	0190171	電話や窓口等で検診希望受付をした場合に、申込情報の登録・更新・削除ができること。 ※1 複数の検診について一括で設定ができること ※2 検診を組み合わせたものをパターンとしてセットできること 予約申し込みは個人ごとに複数の事業を画面遷移することなく登録できる。 予約申し込みは事業を固定し、予約する事業を選択しなおすことなく個人を次々と入力できる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.2.	0190172	申込情報をもとに受診票の随時発行処理ができること。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.3.	0190173	検診資格または負担金条件に影響する資格確認ができること。 ・国保資格 ・後期高齢資格 ・住民税（非課税世帯） ・生活保護 対象判定の手動入力を行う際には同一画面上で連携している資格情報を確認できる。 同一画面で申込み入力、住基情報(住所・氏名・カナ氏名・生年月日・基準日)で計算した年齢、住民区分、国保資格)の確認ができる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.4.	0190174	電子申請による申込情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること 自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。 自動入力時にチェックをおこなない、正常登録、更新エラー、項目エラー(一部項目がエラーのため未入力)が表示できる。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.5.	0190175	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.6.	0190176	申込情報登録時、各検診の受診状況を参照できること。 ※1 当該年度に既に申込済や受診済の情報も参照できること ※2 過去の申込・受診情報も参照できること ※3 ※1,※2が不正の場合は整合性チェック(エラー・アラート)ができること 申込情報登録時、各検診の受診状況を参照できること。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.6.	0190177	申込情報登録時、各検診の受診状況を参照できること。 ※1 自己負担金の情報を参照できること 同一画面で申込み入力、住基情報(住所・氏名・カナ氏名・生年月日・基準日)で計算した年齢、住民区分、国保資格)の確認ができる。 検診種別毎、年齢別毎に料金を設定できる。 料金設定を年度毎に追加・更新できる。	○			対象機能
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.7.	0190178	申込情報登録時、対象年齢、性別、受診歴の間隔のチェックを行い、受診予定日時点年齢が不正の場合は整合性チェック(エラー・アラート)ができること。 ※1 機能ID0190052で登録した事業の情報に従いチェック(エラー・アラート)ができること。 予約申し込みの際に、上記で設定した対象者条件に適合するかのチェックができること。不適合の場合は警告メッセージが表示される。 上記のチェック時の対象年齢は検診種別毎に設定できる。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	2.3.8.	0190179	申込情報登録時、機能ID0190189、0190190で出力した無料クーポン発行対象者情報も参照できること。	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実証区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	－	0190480	<p>当日受付した健(検)診受付情報を登録・更新・削除できること。</p> <p>※1 複数検診の受付情報を一括で登録・更新できること。</p> <p>【管理項目】 「（別紙2－2）管理項目_01.【共通】」〔予約希望者管理〕参照 「（別紙2－2）管理項目_03.【成人保健】検診情報管理」の以下参照 〔肺がん一次検診〕 〔乳がん一次検診〕 〔胃がん一次検診〕 〔子宮頸がん一次検診〕 〔大腸がん一次検診〕 〔肝炎ウイルス一次検診〕 〔骨粗鬆症一次検診〕 〔歯周疾患一次検診〕</p>	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	－	0190481	<p>当日受付した健(検)診受付情報を登録・更新・削除できること。</p> <p>※1 検診資格または負担金条件に影響する資格により、自己負担金の計算ができること。</p>	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	－	0190482	健診対象者データの出力ができること。（EUCでの対応も可とする）	○	ネットワーク接続不可な出先機関等での受付を想定した要件である。		
2.【成人保健】対象者管理	2.3.受付情報管理機能	－	0190483	健診会場等で受け付けた受付データの取り込みができること。	○	ネットワーク接続不可な出先機関等での受け付けた受付情報を、帰庁後健康管理システムに取り込むことを想定した要件である。		
2.【成人保健】対象者管理	2.4.対象者一括参照機能	2.4.2.	0190181	<p>検診ごとに受診票送付者（申込者）を一覧で確認できること（EUCができること）。</p> <p>※1 集団検診の場合、検診予定枠ごとに人数の把握、一覧確認が行えること</p>	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.4.対象者一括参照機能	2.4.3.	0190182	複数検診まとめて受診票送付者（申込者）を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.4.対象者一括参照機能	2.4.4.	0190183	<p>申込情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。</p> <p>※ 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと</p>	◎			
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.1.	0190184	希望調査票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等の受診希望を尋ねるものであり、対象者が自身の対象となる健(検)診内容を確認し、申し込むための帳票を想定している。		
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.2.	0190185	<p>各検診の受診票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。</p> <p>※1 年齢等によって負担額が異なる場合、条件に応じた帳票または内容を出力できること ※2 日時や場所が決まっている場合（集団検診等）、以下の内容が受診票に出力できること。 ・実施予定日 ・受付時間 ・実施場所</p>	◎	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等を受ける際に必要となる。受診可能な検診が出力された帳票を想定している。		
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	－	0190549	<p>各検診の受診票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。</p> <p>※1 年齢等によって負担額が異なる場合、条件に応じた帳票または内容を出力できること</p>	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.2.	0190186	<p>各検診の受診票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。</p> <p>※1 複数の検診を集約した総合受診券（複合受診券）を出力できること。</p>	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.3.	0190187	<p>各検診の案内（通知）を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。</p> <p>※1 年齢等によって負担額が異なる場合、条件に応じた帳票または内容を出力できること ※2 日時や場所が決まっている場合（集団検診等）、以下の内容が案内（通知）に出力できること ・実施予定日 ・受付時間 ・実施場所</p>	◎	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等の対象となった住民の受診時期に合わせて、実施通知する帳票を想定している。		
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.3.	0190188	<p>各検診の案内（通知）を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。</p> <p>※1 複数の検診を集約した案内（通知）を出力できること。</p>	○			
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.4.	0190189	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業として実施している、子宮頸がん検診および乳がん検診の無料クーポン券が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	子宮頸がん検診および乳がん検診が無料で受診できるクーポン券を想定している。		
2.【成人保健】対象者管理	2.5.帳票出力機能	2.5.4.	0190190	地方自治体で、各種検診の受診率向上、早期発見、早期治療に結びつけるための、無料クーポン券が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	地方自治体で実施している各種検診（子宮頸がん検診、乳がん検診以外）が無料で受診できるクーポン券を想定している。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>（1）標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.1.	0190191	検診ごとに、住民を指定して結果情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 年度ごとに受診歴を管理できること ※2 同年度内の複数回受診も管理ができること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_03.【成人保健】検診情報管理」の以下参照 [肺がん一次検診] [乳がん一次検診] [胃がん一次検診] [子宮頸がん一次検診] [大腸がん一次検診] [肝炎ウイルス一次検診] [骨粗鬆症一次検診] [歯周疾患一次検診] 現在実施中の成人健（検）診の情報を管理できる。 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。 未受診者抽出、未受診理由の情報を管理できる。 現在実施中の成人健（検）診の情報を管理できる。 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。 未受診者抽出、未受診理由の情報を管理できる。	◎	管理項目は、以下自治体検診結果用フォーマットのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 01111: 肺がん一次検診セクション 01113: 乳がん一次検診セクション 01115: 胃がん一次検診セクション 01117: 子宮頸がん一次検診セクション 01119: 大腸がん一次検診セクション 01121: 肝炎検診一次検診セクション 01123: 骨粗鬆症一次検診セクション 01125: 歯周疾患一次検診セクション		
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	-	0190484	以下を自動計算できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_03.【成人保健】検診情報管理」の以下参照 [肺がん一次検診]: 実施時年齢、喫煙指数 [乳がん一次検診]: 実施時年齢 [胃がん一次検診]: 実施時年齢 [子宮頸がん一次検診]: 実施時年齢 [大腸がん一次検診]: 実施時年齢 [肝炎ウイルス一次検診]: 実施時年齢 [骨粗鬆症一次検診]: 実施時年齢 [歯周疾患一次検診]: 実施時年齢	○			対象機能
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.2.	0190192	住民を指定して健康診査情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 生活保護受給者の健康診査情報を管理できること（生保対象区分により他の健康診査情報と区別して管理できること） 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_03.【成人保健】検診情報管理」 [健康診査]参照 若年健診など、特定健診以外の健診データを管理できる。 生活習慣（問診、アンケート調査）の情報を管理できる。 BMIや血圧分類、eGFR等の自動計算ができる。	◎	機能ID0190556にて、本機能で管理する生活保護受給者の健康診査情報を、生活保護システム及び生活保護版レセプト管理システムに提供する形を想定している。 ※1の要件があることから、健康診査に関する要件を切り出して定めているが、他の機能IDに記載の“検診”については、健康診査を含むものとする。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	-	0190566	以下を自動計算できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_03.【成人保健】検診情報管理」の以下参照 [健康診査]: 保健指導レベル [健康診査]: メタボリックシンドローム判定 [健康診査]: BMI [健康診査]: eGFR [健康診査]: Non-HDL コレステロール	○			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.4.	0190194	住民ごとに、複数の検診結果を一度に照会できること。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.5.	0190195	申込情報（抽出も含む）がない場合でも結果の登録ができること。 ※1 申込情報がない場合は気づける仕組みであること	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.6.	0190196	検診の申込情報から個人を特定して、結果の登録ができること。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.7.	0190197	検診結果データ登録時、年度内重複受診の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。 入力時に年度内2回目以降の受診に対してエラーチェックができる。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.8.	0190564	検診結果データ登録時、国で示されている検診受診間隔チェック（エラー・アラート）ができること。 ※1 例：胃がん検診におけるX線検査と内視鏡検査の考え方や、乳がん検診における2年に1度の隔年受診、HPV検査単独法のアルゴリズム等 ※2 地方自治体において独自の検診間隔で検診を実施している場合は、機能ID0190201に従いチェック（エラー・アラート）ができること。 （機能ID0190201は、機能ID0190052の市区町村拡張事業で登録した情報に従ったチェックである）	◎	HPV検査単独法のアルゴリズムとは、第40回がん検診のあり方に関する検討会資料1「子宮頸がん検診へのHPV検査単独法導入について」の5頁に示されているアルゴリズムである。	・旧機能IDは0190198である。 ・「がん検診のあり方に関する検討会」における議論を踏まえて、令和6年2月14日付けで指針において推奨される子宮頸がん検診にHPV検査単独法が追加された。	
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.9.	0190199	検診結果データ登録時、対象年齢および性別のチェックを行い、年齢および性別が不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.10.	0190200	検診結果データ登録時、受診日時点で住民であるかチェックを行い、住民でなかった場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.11.	0190201	検診結果データ登録時、機能ID0190052で登録した事業の情報に従いチェック（エラー・アラート）ができること。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.12.	0190202	検診ごとに結果情報を一括で登録できること。 入力は、一括入力画面より事業を中心に複数人まとめて入力できる。 （複数人の抽出は、予約者・更新日・生年月日・年齢・受診日などの条件を使用できる。）	○	ファイル取込ではなく、オンライン上で複数件数を同時登録する機能である。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	-	0190485	検診ごとに結果情報を連続で登録できること。	○	複数件数を同時登録するのではなく、受診日等を一度入力すれば、2件目以降入力を省略して連続的に単件登録できるような機能である。		対象機能
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.13.	0190203	OCR処理等を介して、検診結果情報を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること 自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。	○	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR機能を用いたデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.14.	0190204	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照 個人に紐付けて電子データの管理ができる。	○			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.15.	0190205	検診ごとに、結果情報ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること 自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。 自動入力時にチェックをおこない、正常登録、更新エラー、項目エラー（一部項目がエラーのため未入力）が表示できる。	◎	機能ID0190206のPHR対応に伴う医療機関標準XML以外の結果情報ファイルのことである。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.16.	0190206	健（検）診結果の標準化様式の取り込みができること。 ※1 健診機関が地方自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマットのことである 自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。	◎	PHR対応に伴う医療機関標準XML取り込みに関する要件である。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.17.	0190207	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.1.検診結果管理機能	3.1.18.	0190208	検診結果参照時、検査項目の基準値超過の確認ができること。 ※1 基準値は任意で設定が行えること ※2 基準値をもとに検診結果の色分け等により基準値超過の確認が行えること ※3 以下の場合に、生物学的性別で基準値が異なる検査項目については、台帳上の性別で基準値超過の確認ができること。 例、生物学的性別と、台帳上の性別が異なり、生物学的性別と異なる判定を対象者が希望しているケース 標準値を超えている結果項目は、色を変えて画面表示できる。	○	一般的な基準値は国指針で示されているものの、地域特性を鑑みて基準値を任意で設定する運用を想定した要件である。		
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.1.	0190209	検診ごとに、検診結果情報を一覧で確認できること（ＥＵＣができること）。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.2.	0190210	住民ごとに、各検診結果を経年で確認できること（ＥＵＣができること）。 受診結果を時系列で画面表示できる。 保健指導、基本健診、特定健診等の同一検査管理項目の受診結果を経年で画面表示できる。 例）健診、教室で測定した血圧、体重を経年表示する。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.3.	0190211	検診ごとに、未受診者の抽出、一覧で確認ができること（ＥＵＣができること）。	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.4.	0190212	複数検診同時に、未受診者の抽出、一覧で確認ができること（ＥＵＣができること）。	○			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.5.	0190213	検診ごとに、精密検査の対象者を抽出、一覧で確認ができること（ＥＵＣができること）。 ※1 複数の検査項目を組み合わせた条件検索ができること ※2 受診日の範囲指定が行えること	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.2.検診結果一括参照機能	3.2.6.	0190215	検診情報に対して、指定した条件により一覧をＥＵＣ機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のＥＵＣ機能の要件を満たすこと	◎			
3.【成人保健】検診情報管理	3.3.帳票出力機能	3.3.1.	0190216	各検診の結果票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等の結果を通知する帳票を想定している。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実験区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
3.【成人保健】検診情報管理	3.3.帳票出力機能	3.3.2.	0190217	未受診者勧奨通知が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	健康診査、各種がん検診、独自施策事業等の未受診者に対し、対象者別に勧奨通知や、受診状況確認を行うための帳票を想定している。		
	3.3.帳票出力機能	3.3.3.	0190218	精密検査の受診票（紹介状）を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	各種がん検診、独自施策事業等において、要精密検査の判定の対象者に対して、精密検査受診のお知らせや、受診票を出力することを想定している。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第1.1版】」>3.本仕様の内容>（1）標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.1.精密検査結果管理機能	4.1.1.	0190219	精密検査ごとに、住民を指定して結果情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 受診歴を管理できること ※2 一次検診結果が精密検査対象であるかチェック（エラー・アラート）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_04.【成人保健】精密検査情報管理」の以下参照 [肺がん精密検査] [乳がん精密検査] [胃がん精密検査] [子宮頸がん精密検査] [大腸がん精密検査] [肝炎ウイルス精密検査] [骨粗鬆症精密検査] [歯周疾患検診精密検査] 現在実施中の精密検査の情報を管理できる。 精密検査結果入力時に1次検診受診後、2年度以上経過している場合は確認メッセージを画面表示できる。	◎	管理項目は、以下自治体検診結果用フォーマットのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 01112: 肺がん精密検査セクション 01114: 乳がん精密検査セクション 01116: 胃がん精密検査セクション 01118: 子宮頸がん精密検査セクション 01120: 大腸がん精密検査セクション 01122: 肝炎検診精密検査セクション 01124: 骨粗鬆症精密検査セクション 01126: 歯周疾患精密検査セクション		
4.【成人保健】精密検査結果管理機能	4.1.精密検査結果管理機能	-	0190486	以下を自動計算できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_04.【成人保健】精密検査情報管理」の以下参照 [肺がん精密検査]: 実施時年齢 [乳がん精密検査]: 実施時年齢 [胃がん精密検査]: 実施時年齢 [子宮頸がん精密検査]: 実施時年齢 [大腸がん精密検査]: 実施時年齢 [肝炎ウイルス精密検査]: 実施時年齢 [骨粗鬆症精密検査]: 実施時年齢 [歯周疾患精密検査]: 実施時年齢	○			
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.1.精密検査結果管理機能	4.1.1.	0190220	精密検査ごとに、住民を指定して結果情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 一次検診情報の任意の管理項目を参照できること	◎			
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.1.精密検査結果管理機能	4.1.2.	0190221	精密検査ごとに、結果情報ファイルを使用して一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること 自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力時のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。 自動入力時にチェックをおこない、正常登録、更新エラー、項目エラー（一部項目がエラーのため未入力）が表示できる。	○			
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.1.精密検査結果管理機能	4.1.3.	0190222	健（検）診結果の標準化様式の取り込みができること。 ※1 健診機関が地方自治体へ提出する自治体検診結果用フォーマットのことである	◎	PHR対応に伴う医療機関標準XML取り込みに関する要件である。		
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.1.精密検査結果管理機能	4.1.4.	0190223	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	○			
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.1.精密検査結果管理機能	4.1.5.	0190224	精密検査ごとに結果情報を一括で登録できること。	○	ファイル取込ではなく、オンライン上で複数件数を同時登録する機能である。		
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.1.精密検査結果管理機能	-	0190487	精密検査ごとに結果情報を連続で登録できること。	○	複数件数を同時登録するのではなく、受診日等を一度入力すれば、2件目以降入力を省略して連続的に単件登録できるような機能である。		
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.2.精密検査結果一括参照機能	4.2.1.	0190225	精密検査ごとに、精密検査結果情報を一覧で確認できること（EUCができること）。 ※1 一次検診情報の任意の管理項目を参照できること	◎			
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.2.精密検査結果一括参照機能	4.2.2.	0190226	精密検査ごとに、未受診者勧奨対象者を抽出、一覧で確認できること（EUCができること）。 ※1 一次検診情報の任意の管理項目を参照できること	◎			
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.2.精密検査結果一括参照機能	4.2.3.	0190227	精密検査情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと ※2 一次検診情報の任意の管理項目を参照できること	◎			
4.【成人保健】精密検査情報管理	4.3.帳票出力機能	4.3.1.	0190228	未受診者勧奨通知が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	精密検査の未受診者に対し、対象者別に勧奨通知や、受診状況確認を行うための帳票を想定している。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 留意を希求する機能
4.【成人健康】精密検査情報管理	4.3.帳票出力機能	4.3.2.	0190229	各精密検査の結果票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	精密検査の結果を通知する帳票を想定している。		
4.【成人健康】精密検査情報管理	4.3.帳票出力機能	4.3.3.	0190230	受診者用、医療機関用の各精密検査の追跡調査用の帳票を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	各種がん検診、独自施策事業等において、要精密検査とされた対象者が、医療機関を受診し、その診断結果を地方自治体が把握することを目的とした帳票を想定している。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>（1）標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
5.【成人保健】訪問・相談・教育	5.1.訪問情報管理機能	5.1.1	0190231	訪問情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_05.【成人保健】訪問・相談・教育」[成人保健_訪問申込情報]および[成人保健_訪問結果情報]参照 <i>現在実施中の健康教室、相談事業、訪問事業の情報を管理できる。</i>	◎			
5.【成人保健】訪問・相談・教育	5.1.訪問情報管理機能	5.1.2	0190232	機能ID0190231以外の要件として、以下に記載の要件を満たすこと。 機能・帳票要件_01.【共通】 1.7.訪問情報管理機能 ※1 機能・帳票要件_01.【共通】1.7.訪問情報管理機能の各要件の実装区分に従うことを必須とする。	◎	機能・帳票要件_01.【共通】1.7.訪問情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを主旨として、※1を記載している。		
5.【成人保健】訪問・相談・教育	5.2.健康相談情報管理機能	5.2.1	0190233	健康相談情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_05.【成人保健】訪問・相談・教育」[成人保健_個別指導申込情報]および[成人保健_個別指導結果情報]参照	◎			
5.【成人保健】訪問・相談・教育	5.2.健康相談情報管理機能	5.2.2	0190234	機能ID0190233以外の要件として、以下に記載の要件を満たすこと。 機能・帳票要件_01.【共通】 1.8.健康相談情報管理機能 ※1 機能・帳票要件_01.【共通】1.8.健康相談情報管理機能の各要件の実装区分に従うことを必須とする。	◎	機能・帳票要件_01.【共通】1.8.健康相談情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを主旨として、※1を記載している。		
5.【成人保健】訪問・相談・教育	5.3.教育情報管理機能	5.3.1	0190235	教育情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_05.【成人保健】訪問・相談・教育」[成人保健_集団指導申込情報]および[成人保健_集団指導結果情報]参照	◎			
5.【成人保健】訪問・相談・教育	5.3.教育情報管理機能	5.3.2	0190236	機能ID0190235以外の要件として、以下に記載の要件を満たすこと。 機能・帳票要件_01.【共通】 1.9.教育情報管理機能 ※1 機能・帳票要件_01.【共通】1.9.教育情報管理機能の各要件の実装区分に従うことを必須とする。	◎	機能・帳票要件_01.【共通】1.9.教育情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを主旨として、※1を記載している。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>（1）標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	健康管理システム	実装区分 母子健康 (産育施設以外)	母子健康 (産育施設のみ)	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
6.【母子健康】妊産婦管理	6.1.妊婦届出・妊産婦管理	6.1.1.	0190237	妊婦届出（新規・転入）の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 多胎の場合にも管理できること ※2 母子手帳の発行及び再発行の情報も管理できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊婦届出情報]および[妊婦届出アンケート]ならびに[母子健康手帳交付情報] 妊婦届の情報（届出日、電話番号、第何子、予定日、出産回数、生活習慣、出産に対する不安などの問診項目）を管理できる。 ハイリスク（10代・要注患者・育児支援連絡票）のコメントを管理できる。 母子手帳情報を照会することができる。	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 80 母子保健法による妊婦の届出に関する情報		
		6.1.2.	0190238	妊婦届出時の妊婦週数、妊婦月数が自動算出できること。 ※1 届出日と出産予定日から届出時の妊婦週数と妊婦月数が自動的に設定できること ※2 自動算出後に手修正できること	○	○	×			対象機能
6.【母子保健】妊産婦管理	6.1.妊婦届出・妊産婦管理	6.1.3.	0190239	母子手帳情報登録時、母子手帳番号が自動付番できること。 ※1 母子手帳番号は「年度（西暦下2桁）＋登録支所十通番」を基本として、パラメータによって自由に付番条件を追加、編集できること。なお自動付番の有無は設定可能であること。 ※2 母子手帳番号を手入力した場合に重複番号を抑制すること ※3 多胎児に対して付番ができること ※4 自動算出後に手修正できること	○	○	×	・母子手帳番号を健康管理システムとして自動付番する要件であるが、自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。 ・付番方法は地方自治体により異なることからパラメータで自由に設定できることとする。		
6.【母子保健】妊産婦管理	6.1.妊婦届出・妊産婦管理	-	0190600	自治体別受診券IDを管理できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊婦健診受診券ID情報][妊婦健診受診券ID発行情報]参照	◎	◎	×	「自治体別受診券ID」はPMHとの連携（機能ID0190595）で利用する項目である。	PMHとの連携に伴い機能を追加	※令和6年度以降の先行実施の連携・令和7年度における電子版母子健康手帳のガイドラインの策定等を踏まえて、設定する。
6.【母子保健】妊産婦管理	6.1.妊婦届出・妊産婦管理	-	0190601	母子手帳情報登録時、自治体別受診券IDが自動付番できること。 ※1 PMHとの連携仕様（機能ID0190595）に準じたIDを付番できること。 ※2 自動付番後に手修正できること	○	○	×		PMHとの連携に伴い機能を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.2.妊婦届出・妊産婦管理	6.2.1.	0190242	妊婦届出情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.2.妊婦届出・妊産婦管理	6.2.1.	0190243	妊婦届出情報を一覧で確認できること（EUCができること）。 ※1 乳児の情報も一覧で確認できること	○	○	×			対象機能
6.【母子保健】妊産婦管理	6.2.妊婦届出・妊産婦管理	6.2.2.	0190244	ハイリスク、フォロー対象者を一覧で確認できること（EUCができること）。 ※1 ハイリスク対象者の条件を設定できること ※2 フォロー対象者の条件を設定できること ハイリスクの対象者を抽出できる。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.2.妊婦届出・妊産婦管理	6.2.3.	0190245	妊婦届出情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.3.妊婦届出・妊産婦管理	6.3.1.	0190246	妊婦宛てのお知らせ通知を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.3.妊婦届出・妊産婦管理	6.3.2.	0190247	妊産婦個人台帳を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×	妊産婦個人台帳は妊産婦に対してフォロー等を実施する際に、対象者の妊婦期から産後までの情報を一括で確認するための要件として設けている。		
6.【母子保健】妊産婦管理	6.29.出産の状態・妊産婦管理	-	0190488	出産の状態に係る情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[出産の状態に係る情報]参照	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.30.出産の状態・妊産婦管理	-	0190489	出産の状態に係る情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.4.妊婦健診・妊産婦管理	6.4.1.	0190248	妊婦健診の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 届出番号と紐づけて、健診回数の管理ができること ※2 以下のケースにおいても受診結果が管理できること。また区分等で見分けがつけられること。（産褥り等他自治体で受診したケース） ※3 15回以上の健診回数上乗せを管理できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊婦健診結果]参照 妊婦健康診査の情報（受診日、回数、調定日、結果など）を管理できる。 妊婦健診受診券の利用状況を管理できる。 妊婦健診受診券を2枚同時使用した場合も情報を管理できる。 HTLV-1やクラミジアなどの補助券使用の情報を管理できる。	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 86 母子保健法による妊産婦又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報 妊婦健診情報>妊婦健診情報		
6.【母子保健】妊産婦管理	6.4.妊婦健診・妊産婦管理	6.4.2.	0190250	妊婦健診の各種情報について妊婦週数は自動算出もできること。 ※1 受診日と届出時の出産予定日から受診時点の妊婦週数を自動的に設定できること	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.4.妊婦健診・妊産婦管理	6.4.4.	0190253	妊婦健診結果情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.5.妊婦健診・妊産婦管理	6.5.1.	0190254	妊婦健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.6.妊婦健診・妊産婦管理	6.6.1.	0190255	未受診者への勧奨通知の出力ができること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.6.妊婦健診・妊産婦管理	6.6.2.	0190256	妊婦健診受診券が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 発行履歴の管理ができること ※2 任意の受診券（枚数）を選択して出力できること	○	○	×			対象機能
6.【母子保健】妊産婦管理	6.7.妊婦健診・妊産婦管理	6.7.1.	0190257	妊婦健診費用助成の各種情報が管理（登録・更新・削除・照会）できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊婦健診費用助成]参照	◎	◎	×	妊婦健診費用助成は償還払いの要件を意図している。		
6.【母子保健】妊産婦管理	6.7.妊婦健診・妊産婦管理	6.7.2.	0190258	妊婦健診費用助成の上限金額が管理できること	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.7.妊婦健診・妊産婦管理	6.7.3.	0190259	妊婦健診費用助成情報を登録時、助成金額・助成回数の上限チェック（エラー・アラート）ができること。	○	○	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	業務区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康システム	母子保健 （検査実施以外）	母子保健 （検査実施のみ）			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.8.妊婦健診費用助成一括管理機能	6.8.1.	0190260	決定日範囲を指定して妊婦健康診査費用助成の決定者を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.8.妊婦健診費用助成一括管理機能	6.8.2.	0190261	決定日範囲を指定して妊婦健康診査費用助成の明細を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.8.妊婦健診費用助成一括管理機能	6.8.3.	0190262	妊婦健診費用助成情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.9.妊婦健診費用助成集票出力機能	6.9.1.	0190263	妊婦健診費用助成決定通知の出力ができること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.9.妊婦健診費用助成集票出力機能	-	0190490	妊婦健診費用助成却下通知の出力ができること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.10.妊産婦歯科健診情報管理機能	6.10.1.	0190264	妊産婦歯科健診の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理「妊産婦歯科健診結果」参照	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 86 母子保健法による妊産婦又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報 妊婦健診情報＞妊婦健診情報＞妊婦歯科情報		
6.【母子保健】妊産婦管理	6.10.妊産婦歯科健診情報管理機能	-	0190491	以下を自動計算できること 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理「妊産婦歯科健診結果」の以下参照 [妊産婦歯科健診結果]：妊婦通数 [妊産婦歯科健診結果]：（ありの場合）要治療のむし歯本数	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.10.妊産婦歯科健診情報管理機能	-	0190492	妊産婦歯科健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.11.妊産婦歯科健診一括管理機能	6.11.1.	0190266	妊産婦歯科健診情報の結果を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.11.妊産婦歯科健診一括管理機能	6.11.2.	0190267	妊産婦歯科健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.12.妊産婦歯科精密健診情報管理機能	6.12.1.	0190268	妊産婦歯科精密の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 妊産婦歯科精密健診情報を参照できること 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理「妊産婦歯科精密健診結果」参照	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.12.妊産婦歯科精密健診情報管理機能	-	0190493	妊産婦歯科精密健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.12.妊産婦歯科精密健診情報管理機能	6.12.2.	0190269	妊産婦歯科精密健診情報の結果を一覧で確認できること（EUCができること）。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.12.妊産婦歯科精密健診情報管理機能	-	0190494	妊産婦歯科精密健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.13.妊婦精密健診情報管理機能	6.13.1.	0190270	妊婦精密健診の結果情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理「妊婦精密健診結果」参照	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.13.妊婦精密健診情報管理機能	-	0190495	妊婦精密健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.21.妊婦精密健診一括管理機能	-	0190496	妊婦精密健診情報の結果を一覧で確認できること（EUCができること）。	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.21.妊婦精密健診一括管理機能	-	0190497	妊婦精密健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	○	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.14.産婦健診情報管理機能	6.14.1.	0190272	産婦健診の結果情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理「産婦健診結果」参照 産後うつ（エジンバラ）の情報を管理できる。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.14.産婦健診情報管理機能	-	0190498	産婦健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.14.産婦健診情報管理機能	6.14.2.	0190273	以下を自動計算できること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_08.【母子保健】産婦健診結果「の以下参照 [母子保健_産婦健診結果情報]：EPDS評価点数 [母子保健_産婦健診結果情報]：赤ちゃんへの気持ち評価点数 産後うつ（エジンバラ）の入力結果より点数計算ができる。	○	○	×			対象機能
6.【母子保健】妊産婦管理	6.15.産婦健診一括管理機能	6.15.1.	0190275	産婦健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.22.産婦健診集票出力機能	-	0190499	産婦健診受診券が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×			対象機能
6.【母子保健】妊産婦管理	6.23.産婦健診費用助成情報管理機能	-	0190500	産婦健診費用助成の各種情報が管理（登録・更新・削除・照会）できること 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理「産婦健診費用助成」参照	◎	◎	×	産婦健診費用助成は償還払いの要件を要図している。		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子健康 （健康調査以外）	母子健康 （健康調査のみ）			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.23.産婦健診費用助成情報管理機能	－	0190501	産婦健診費用助成の上限金額が管理できること	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.23.産婦健診費用助成情報管理機能	－	0190502	産婦健診費用助成情報を登録時、助成金額・助成回数の上限チェック（エラー・アラート）ができること。	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.24.産婦健診費用助成管理機能	－	0190503	決定日範囲を指定して産婦健康診査費用助成の費用助成の決定者を一覧で確認できること（ＥＵＣができること）。	◎	◎	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.24.産婦健診費用助成一覧管理機能	－	0190504	決定日範囲を指定して産婦健康診査費用助成の明細を一覧で確認できること（ＥＵＣができること）。	◎	◎	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.24.産婦健診費用助成管理機能	－	0190505	産婦健診費用助成情報に対して、指定した条件により一覧をＥＵＣ機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のＥＵＣ機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.25.産婦健診費用助成集票出力機能	－	0190506	産婦健診費用助成決定通知の出力ができること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.25.産婦健診費用助成集票出力機能	－	0190507	産婦健診費用助成却下通知の出力ができること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.16.産婦精密健診情報管理機能	6.16.1.	0190276	産婦精密健診の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_06.【母子健康】妊産婦管理「産婦精密健診結果」参照	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.16.産婦精密健診情報管理機能	－	0190508	産婦精密健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.26.産婦精密健診一覧管理機能	－	0190509	産婦精密健診情報の結果を一覧で確認できること（ＥＵＣができること）。	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.26.産婦精密健診一覧管理機能	－	0190510	産婦精密健診情報に対して、指定した条件により一覧をＥＵＣ機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のＥＵＣ機能の要件を満たすこと	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.17.産後ケア情報管理	6.17.1.	0190278	産後ケア事業の申請および利用実績情報を管理（登録・更新・削除・照会）することができること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_06.【母子健康】妊産婦管理「産後ケア事業情報」参照	○	○	×		産後ケア事業に関しては母子保健法に示されているものの、実装実績が少ない事業であることから標準オプション機能としている。	
6.【母子健康】妊産婦管理	6.17.産後ケア情報管理	6.17.3.	0190280	産後ケアの各種情報を登録時、助成金額・助成回数の上限チェック（エラー・アラート）ができること。	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.17.産後ケア情報管理	－	0190511	負担金条件に影響する資格確認ができること。 ・住民税（非課税世帯） ・生活保護	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.27.産後ケア一覧管理機能	－	0190512	産後ケアの各種情報の結果を一覧で確認できること（ＥＵＣができること）。	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.27.産後ケア一覧管理機能	－	0190513	産後ケアの各種情報に対して、指定した条件により一覧をＥＵＣ機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のＥＵＣ機能の要件を満たすこと	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.18.産後ケア集票出力機能	6.18.1.	0190281	産後ケア助成券、決定通知書、委託施設への依頼書を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×			
6.【母子健康】妊産婦管理	6.31.妊婦のための支援給付支給状況管理機能	－	0190602	妊婦のための支援給付支給状況の情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 ↑（別紙2-2）管理項目_06.【母子健康】妊産婦管理「妊婦のための支援給付支給状況」参照	◎	◎	×		妊婦のための支援給付の給付実績管理の要件を追加	
6.【母子健康】妊産婦管理	6.31.妊婦のための支援給付支給状況管理機能	－	0190603	妊婦のための支援給付支給状況情報登録時、支給申請（認定）日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×		妊婦のための支援給付の給付実績管理の要件を追加	
6.【母子健康】妊産婦管理	6.32.妊婦のための支援給付支給状況管理機能	－	0190604	妊婦のための支援給付支給状況情報に対して、指定した条件により一覧をＥＵＣ機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のＥＵＣ機能の要件を満たすこと	◎	◎	×		妊婦のための支援給付の給付実績管理の要件を追加	
6.【母子健康】妊産婦管理	6.33.妊婦のための支援給付支給状況集票出力機能	－	0190628	妊婦給付認定通知書を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×	こども家庭庁より公開予定の参考様式を基に出力すること。	妊婦のための支援給付における集票出力の要件を追加	
6.【母子健康】妊産婦管理	6.33.妊婦のための支援給付支給状況集票出力機能	－	0190642	妊婦給付認定申請却下通知書を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×	こども家庭庁より公開予定の参考様式を基に出力すること。	妊婦のための支援給付における集票出力の要件を追加	
6.【母子健康】妊産婦管理	6.33.妊婦のための支援給付支給状況集票出力機能	－	0190643	妊婦支援給付金支払通知書を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×	こども家庭庁より公開予定の参考様式を基に出力すること。	妊婦のための支援給付における集票出力の要件を追加	

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子健康 （妊産婦以外）	母子健康 （妊産婦のみ）			
6.【母子保健】妊産婦管理	6.33.妊婦のための支援給付支給状況概要出力機能	-	0190644	妊婦給付認定通知書兼妊婦支援給付金支払通知書を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×	こども家庭庁より公開予定の参考様式を基に出力すること。	妊婦のための支援給付における帳票出力の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.33.妊婦のための支援給付支給状況概要出力機能	-	0190645	妊婦給付認定取消通知書を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×	こども家庭庁より公開予定の参考様式を基に出力すること。	妊婦のための支援給付における帳票出力の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.34.妊婦のための支援給付支給状況口座振込機能	-	0190629	支給決定された情報をもとに、全国銀行協会フォーマットの様式で口座振込データを作成できること。	○	○	×		妊婦のための支援給付における口座振込関連の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.35.妊婦等包括相談支援管理機能	-	0190630	妊婦等包括相談支援の情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[妊婦等包括相談支援（1回目）][妊婦等包括相談支援（2回目）][妊婦等包括相談支援（3回目）]参照	◎	◎	×		妊婦等包括相談支援管理の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.35.妊婦等包括相談支援管理機能	-	0190631	妊婦等包括相談支援情報登録時、実施日時時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×		妊婦等包括相談支援管理の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.36.妊婦等包括相談支援一覧管理機能	-	0190632	妊婦等包括相談支援情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×		妊婦等包括相談支援管理の要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.37.里帰りの情報管理機能	-	0190633	里帰りの情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_06.【母子保健】妊産婦管理」[里帰りの情報]参照	◎	◎	×		令和7年6月改版のデータ標準レイアウトに里帰りの情報が追加となっていたことから要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.37.里帰りの情報管理機能	-	0190634	里帰りの情報登録時、把握日時時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×		令和7年6月改版のデータ標準レイアウトに里帰りの情報が追加となっていたことから要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.38.里帰りの情報一覧管理機能	-	0190635	里帰りの情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×		令和7年6月改版のデータ標準レイアウトに里帰りの情報が追加となっていたことから要件を追加	
6.【母子保健】妊産婦管理	6.28.結果情報等取込機能	-	0190514	OCR処理等を介して、結果情報等を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 OCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR処理等を介して作成したデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の適用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
6.【母子保健】妊産婦管理	6.28.結果情報等取込機能	-	0190515	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 OCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照	○	○	×	・健康管理システム標準仕様に基づいて実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。		
6.【母子保健】妊産婦管理	6.28.結果情報等取込機能	-	0190516	事実ごとに、結果情報等の電子ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	◎	◎	×	健康管理システム標準仕様に基づいて実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。		
6.【母子保健】妊産婦管理	6.28.結果情報等取込機能	-	0190517	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	◎	◎	×	健康管理システム標準仕様に基づいて実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3. 本仕様の内容> (1) 標準化範囲内の類型に記載の

「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、搭載を希望する機能
					健康管理システム	実装区分 母子保健 (産後医療以外)	母子保健 (産後医療のみ)			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.1.出生時情報管理機能	7.1.1.	0190296	出生時状況（出生連絡票の情報）の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」【出生時状況】参照	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 96 母子保健法による妊産婦又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報 出生時の情報の項目		
		7.1.2.	0190297	出生時状況（出生連絡票の情報）の情報登録時、カウプ指数、パーセントイル値の範囲は手入力他に自動算出できること。 ※1 カウプ指数は身長、体重から自動計算できること ※2 身長・体重・頭囲・胸囲のパーセントイル値を自動計算できること	◎	◎	×	パーセントイル値の範囲の算出については、「乳幼児身体発育評価マニュアル」をもとに算出する。		
		7.1.3.	0190298	母親情報は住記情報の続柄から判断可能な場合は自動設定できること。 または住記情報を参照し、母親を選択できること	○	○	×			
		7.1.4.	0190299	父親情報は住記情報の続柄から判断可能な場合は自動設定できること。 または住記情報を参照し、父親を選択できること	○	○	×			
		7.1.5.	0190300	出生児の情報と母親の妊娠期の情報を紐づけて参照できること。 子供の情報を抽出し、母親の情報（妊娠時の情報など）を並べて出力できる。 例) 児の3ヶ月健診の結果を条件に抽出し、母の妊娠届の情報を出力する。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.2.出生時情報一覧管理機能	7.2.1.	0190303	出生児情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
		7.2.2.	0190304	ハイリスク、フォロー対象者を一覧で確認できること（EUCができること）。 ※1 ハイリスク対象者の条件を設定できること ※2 フォロー対象者の条件を設定できること	◎	◎	×	ハイリスク対象者とは、「ハイリスク」という項目をもとに抽出するのではなく、自由に抽出条件を設定しリスクが高いと考えられる者を抽出する機能を意図している。		
		7.2.3.	0190305	出生児情報と母親の妊娠時情報とを紐づけた、新生児訪問予定者のリストを一覧で確認できること（EUCができること）。 母親情報について、妊婦健診、フォロー情報等の年度内に複数回登録する結果は、回数を指定して出力できる 例) 児の出生時情報を条件に抽出し、母の妊婦健診の情報を過去5回分出力する。	◎	◎	×			
		7.2.4.	0190306	出生児情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
		7.3.1.	0190307	新生児聴覚スクリーニング検査の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」【新生児聴覚検査結果】参照	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 98 母子保健法による妊産婦又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報 出生時の情報の項目>新生児聴覚検査結果項目		
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.3.新生児聴覚スクリーニング検査情報管理機能	-	0190519	新生児聴覚スクリーニング検査情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.4.新生児聴覚スクリーニング検査一覧管理機能	7.4.1.	0190308	新生児聴覚スクリーニング検査情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.5.新生児聴覚スクリーニング検査費用助成情報管理機能	7.5.1.	0190309	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成の各種情報が管理（登録・更新・削除・照会）できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」【新生児聴覚スクリーニング検査費用助成】参照	○	○	×	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成は償還払いの要件を意図している。		
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.5.新生児聴覚スクリーニング検査費用助成情報管理機能	7.5.2.	0190310	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成の上限金額が管理できること ※1 検査方法によって上限金額を可変にできること	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.5.新生児聴覚スクリーニング検査費用助成情報管理機能	7.5.3.	0190311	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成情報を登録時、助成金額の上限チェック（エラー・アラート）ができること。	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.6.新生児聴覚スクリーニング検査費用助成一覧管理機能	7.6.1.	0190312	決定日前範囲を指定して新生児聴覚スクリーニング検査費用助成の費用助成の決定者を一覧で確認できること（EUCができること）。	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.6.新生児聴覚スクリーニング検査費用助成一覧管理機能	7.6.2.	0190313	決定日前範囲を指定して新生児聴覚スクリーニング検査費用助成の明細を一覧で確認できること（EUCができること）。	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.6.新生児聴覚スクリーニング検査費用助成一覧管理機能	7.6.3.	0190314	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理機能	7.7.新生児聴覚スクリーニング検査費用助成結果出力機能	7.7.1.	0190315	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成決定通知の出力ができること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	業務区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 （健診記録以外）	母子保健 （健診記録のみ）			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.7.新 生児健 常スク リーニ ング後 査費用 助成機 果出力 機能	7.7.2.	0190316	新生児聴覚スクリーニング検査費用助成却下通知の出力ができること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.8.乳 幼児健 診対象 者管理 機能	-	0190520	事業ごとに対象者を指定条件で抽出し、一覧で確認できること（EUCができること）。 <抽出条件について> ※1 任意の基準日時点の住民を対象とできること ※2 任意の基準日で年齢計算ができること ※3 年齢計算は、暦による期間の計算（民法第143条第2項の計算）ができること ※4 年齢範囲を設定できること ※5 受診状態を参照した抽出ができること	○	○	×			対象機能
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.8.乳 幼児健 診対象 者管理 機能	7.8.1.	0190317	集団健診の事業予定に対して対象者を割り振ることができること。 ※1 指定した事業（健診種類、場所、予定日、時間）に指定した条件（生年月日範囲、地区）の住民を割り振りできること ※2 生年月日範囲と人数を指定し自動的に割り振りできること ※3 自動的に割り振りした場合には世帯番号が同じ住民が別の事業予定に割り振りされないこと ※4 割り振り済みの住民と未割り振りの住民を区別できること ※5 発送対象外者や他市受診済みの対象児を除外できること	○	○	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.8.乳 幼児健 診対象 者管理 機能	7.8.2.	0190318	乳幼児健診対象者を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」〔乳幼児健診対象者〕参照	◎	◎	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.8.乳 幼児健 診対象 者管理 機能	-	0190605	自治体別乳幼児健診IDを管理できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」〔自治体別乳幼児健診ID情報〕参照	◎	◎	×	自治体別乳幼児健診IDはP順との連携（機能ID0190595）で利用する項目である。	P順との連携に伴い機能を追加	
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.8.乳 幼児健 診対象 者管理 機能	7.8.3.	0190319	各健診の健診対象者を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.1.	0190636	乳幼児健診情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」の以下参照 1か月児健診結果 1か月児健診アンケート 3～4か月児健診結果 3～4か月児健診アンケート 1歳6か月児健診結果 1歳6か月児健診アンケート 1歳6か月児産科健診結果 3歳児健診結果 3歳児健診アンケート 3歳児産科健診結果 5歳児健診結果 5歳児健診結果アンケート 乳幼児健診結果（その他健診） 乳幼児産科健診結果（その他産科健診）	◎	◎	×	健診事業をそれぞれ管理する要件である。 旧機能IDは0190567である。	令和7年6月のデータ標準レイアウト改版に伴い追加となった事業を追加。	
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.2.	0190606	乳幼児健診情報登録時、自動算出可能な内容は手入力のに自動算出もできること。 ※1 カウプ指数は身長、体重から自動計算できること ※2 身長・体重・頭圍のパーセンタイル値の範囲を自動計算できること ※3 肥満度は身長、体重から自動計算できること ※4 月齢は受診日から自動計算できること	◎	◎	×	パーセンタイル値の範囲・カウプ指数・肥満度の算出については、「乳幼児身体発育評価でニュアル」をもとに算出する。 旧機能IDは0190321である。		
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能		0190550	歯式の情報から以下を自動計算できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」 〔1歳6か月児産科健診結果〕：現在歯数、変観察歯数、う歯総数 〔3歳児産科健診結果〕：現在歯数、変観察歯数、う歯総数	○	○	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.3.	0190322	過去の複数事業で保持している乳幼児健診受診歴を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.4.	0190323	集団健診の入力は事業の予約者または参加者など対象者を指定した条件で抽出し、複数個人を一度に登録することができること。	○	○	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.5.	0190324	乳幼児健診情報入力時に世帯情報確認ができること。	○	○	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.6.	0190325	发育曲線（身長、体重、頭圍、胸圍）の表示、出力ができること。	○	○	×			対象機能
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.7.	0190326	乳幼児健診情報の入力、表示時に予防接種情報、妊婦情報、相談・教育情報、フォロー情報、予約情報等の関連する情報を容易に閲覧できること。また、任意の情報の修正画面に遷移することができること。	○	○	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.8.	0190327	乳幼児健診結果情報登録時、対象年齢範囲内かチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	-	0190521	乳幼児健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.9.	0190328	精密健診の依頼について依頼内容を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」〔精密健診の依頼〕参照	○	○	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.9.乳 幼児健 診情報 管理機 能	7.9.10.	0190329	情報提供ネットワークシステムより取得した他の市町村で実施した健診履歴情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」〔健診受診履歴〕参照	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 86 母子保健法による妊産婦又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報 健診受診履歴		
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.10.乳 幼児健 診一 覧管理 機能	7.10.1.	0190330	乳幼児健診結果を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.10.乳 幼児健 診一 覧管理 機能	7.10.1.	0190331	乳幼児健診結果に加えて、出生時情報も一覧で確認できること。	○	○	×			
7.【母 子保 健】乳 幼児管 理	7.10.乳 幼児健 診一 覧管理 機能	7.10.2.	0190332	精密健診の対象者を一覧で確認できること（EUCができること）。	○	○	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	健康管理システム	業務区分 母子保健 (健診領域以外)	母子保健 (健診領域のみ)	要件の考え方・理由	備考（決定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
7.【母子保健】乳幼児管理	7.10.乳幼児健康一覧管理機能	7.10.3.	0190333	乳幼児健診情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.11.乳幼児健診検票出力機能	7.11.1.	0190334	健診案内通知が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×	健診会場や時間等をお知らせするための案内文（健診時に持参しなけねばならない帳票ではない）を出力する機能を想定。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.11.乳幼児健診検票出力機能	7.11.2.	0190335	健診受診票が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×	健診受診時に健診機関・健診会場等に提示するような（金券となりうる）帳票を出力する機能を想定。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.11.乳幼児健診検票出力機能	7.11.3.	0190336	精密健診票が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×	精密健診対象者が精密健診受診時に利用する受診票を出力する機能を想定。		対象機能
7.【母子保健】乳幼児管理	7.11.乳幼児健診検票出力機能	7.11.4.	0190337	診察依頼書が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×	医療機関に対して提示する診察依頼書を出力する機能を想定。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.12.乳幼児精密健診情報管理機能	7.12.1.	0190338	乳幼児精密健診の各種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」[乳幼児精密健診結果]参照	◎	◎	×	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 86 母子保健法による妊産婦又は乳児若しくは幼児に対する健康診査に関する情報 1歳6か月の精密健康診査受診票情報 3歳の精密健康診査受診票情報		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.12.乳幼児精密健診情報管理機能	-	0190522	以下を自動計算できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」 [乳幼児精密健診結果]：月齢	○	○	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.12.乳幼児精密健診情報管理機能	-	0190523	乳幼児精密健診情報登録時、受診日時点で住民であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.13.乳幼児精密健診一覧管理機能	7.13.1.	0190340	精密健診結果を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.14.未受診者動向管理機能	7.14.1.	0190341	未受診者動向情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_07.【母子保健】乳幼児管理」[未受診者動向情報]参照	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.15.未受診者一覧管理機能	7.15.1.	0190342	未受診者を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.16.未受診者検票出力機能	7.16.1.	0190343	未受診者への動向通知の出力ができること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	◎	×			
7.【母子保健】乳幼児管理	7.20.結果情報等取込機能	-	0190524	OCR処理等を介して、結果情報等を電子化したファイルの取り込みができること。 ※1 OCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	○	×	・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR処理等を介して作成したデータ取り込み機能に固する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.20.結果情報等取込機能	-	0190525	OCR処理等を介して読み取った帳票のイメージファイルを、電子ファイルで保存し、参照ができること。 ※1 OCRエンジンを組み込むことは不可とする。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照	○	○	×	・健康管理システム標準仕様に準拠して実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.20.結果情報等取込機能	-	0190526	事業ごとに、結果情報等の電子ファイルを一括して取り込みできること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	◎	◎	×	健康管理システム標準仕様に準拠して実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.20.結果情報等取込機能	-	0190527	エラー対応後再度取り込み処理を実施できること。	◎	◎	×	健康管理システム標準仕様に準拠して実施する母子保健の各事業情報を対象として本機能を利用可能としている。		
7.【母子保健】乳幼児管理	7.19.帳票出力機能	7.19.1.	0190349	母子カード（母子カルテ）が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。母子カードには妊婦届と乳児の情報が出力できること。	○	○	×	出生時の情報から各健診結果を一覧で確認するための帳票機能を想定。		

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第1.1版】」>3. 本仕様の内容> (1) 標準化範囲内の類型に記載の

「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	健康管理システム	実装区分 母子保健 (健育底層以外)		要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
						母子保健 (健育底層のみ)	母子保健 (健育底層のみ)			
8.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー	8.1.訪問情報管理機能	8.1.1.	0190350	訪問情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_08.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー」の[母子保健_訪問申込情報]および[母子保健_訪問結果情報]参照 新主迎訪問の情報（訪問日・訪問状況・訪問者名・訪問時月齢・フォローの有無）を管理できる。	◎	◎	×			
			0190528	以下を自動計算できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_08.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー」の以下参照 [母子保健_訪問結果情報]：EPOS評価点数 [母子保健_訪問結果情報]：赤ちゃんへの気持ち評価点数	○	○	×			対象機能
			0190607	訪問情報登録時、カウプ指数、パーセントイル値の範囲は手入力の場合に自動算出できること。 ※1 カウプ指数は身長、体重から自動計算できること ※2 身長・体重・頭囲・胸囲のパーセントイル値を自動計算できること	○	○	×			
		8.1.3.	0190352	その他訪問に関する要件は以下に記載の要件を満たすこと。 機能・構築要件.01.【共通】 1.7.訪問情報管理機能 ※1 機能・構築要件.01.【共通】1.7.訪問情報管理機能の各要件の実装区分に沿うことを必須とする 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。	◎	◎	×	機能・構築要件.01.【共通】1.7.訪問情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを主旨として、※1を記載している。		
	8.2.相談情報管理機能	8.2.1.	0190353	相談情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_08.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー」の[母子保健_個別指導申込情報]および[母子保健_個別指導結果情報]参照	◎	◎	×			
		8.2.2.	0190354	その他相談に関する要件は以下に記載の要件を満たすこと。 機能・構築要件.01.【共通】 1.8.健康相談情報管理機能 ※1 機能・構築要件.01.【共通】1.8.健康相談情報管理機能の各要件の実装区分に沿うことを必須とする 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。	◎	◎	×	機能・構築要件.01.【共通】1.8.健康相談情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを主旨として、※1を記載している。		
	8.3.教育情報管理機能	8.3.1.	0190355	教育情報を管理（登録、修正、削除、照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_08.【母子保健】教育・相談・訪問・フォロー」の[母子保健_集団指導申込情報]および[母子保健_集団指導結果情報]参照	◎	◎	×			
		8.3.2.	0190356	その他教育に関する要件は以下に記載の要件を満たすこと。 機能・構築要件.01.【共通】 1.9.教育情報管理機能 ※1 機能・構築要件.01.【共通】1.9.教育情報管理機能の各要件の実装区分に沿うことを必須とする 年度内に複数回受診できる健診や相談記録、訪問記録は2回以上受診した場合も情報を管理できる。	◎	◎	×	機能・構築要件.01.【共通】1.9.教育情報管理機能の各要件は実装必須機能と標準オプション機能が混在しているため、共通の実装類型に従うことを主旨として、※1を記載している。		
	8.4.帳票出力機能	8.4.1.	0190357	訪問票（フェイスシート）が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	○	×	訪問時に対象児の出生情報等を確認するための帳票を想定。		対象機能
		8.4.2.	0190358	個人の経過記録表が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 「訪問」「相談」問わず台帳に出力ができること。	○	○	×	訪問、相談、教育実施時に対象児の健診結果や指導票を確認することを目的に出力する帳票を想定。		対象機能

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3. 本仕様の内容> (1) 標準化範囲内の類型に記載の

「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	実装区分 母子保健 (育児医療以外)	母子保健 (育児医療のみ)			
9.【母子保健】 育児医療管理	9.1.【母子保健】 育児医療管理機能	9.1.1.	0190359	育児医療の申請情報を管理（登録・変更・削除・照会）できること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_09.【母子保健】育児医療管理」〔育児医療申請情報〕参照 ※1 徴収基準月額は、階層区分をもとにシステムで自動設定できること 未熟児育児医療の申請および審査結果の情報を管理できる。 更新申請、変更申請およびその理由を管理できる。 前回の入力内容を再利用して入力できる。 申請者、保護者を入力することで、その者の氏名、生年月日、住所が自動で入力される。 階層区分を選択すると徴収基準月額が自動で入力される。 徴収基準月額は任意の金額も入力できる。 階層区分に応じた徴収基準月額をマスタ管理できる。	○	×	◎	育児医療全般に関して、政令市や中核市等で一部運用を行っているがそれ以外の自治体についてはほぼ運用を実施していない状況である。上記状況を鑑みて標準オプション機能としている。 管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 12 母子保健法による育児医療の給付又は育児医療に要する費用の支給に関する情報		
		-	0190529	以下を自動計算できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_09.【母子保健】育児医療管理」の以下参照〔育児医療申請情報〕：徴収基準月額（加算考慮）	○	×	○			
	9.1.【母子保健】 育児医療管理機能	9.1.2.	0190360	育児医療の申請情報登録時、受給者番号は手入力の他に自動算出（連番等）もできること。 新規申請時に受給者番号を自動で採番できる。	○	×	○			
		9.1.3.	0190361	育児医療の申請情報登録時、階層区分は手入力の他に自動算出もできること。 ※1 育児医療の階層区分マスタを参照し、地方税の額から階層区分を自動判定できること 所得税額を入力すると階層区分、徴収基準月額が自動で入力される。	○	×	◎			
	9.1.【母子保健】 育児医療管理機能	9.1.6.	0190363	育児医療の申請情報入力時に住民籍に以下の情報の参照ができること。 ・住居情報 ・世帯情報 ・税情報 申請者、保護者の入力は、対象者の世帯一覧の候補から選択して入力できる。 上記項目について、候補から選択の際に世帯外の住民も個人検索から設定できる。	○	×	◎			
		9.2.1.	0190365	育児医療の申請情報を一覧で確認できること（EUCができること）。 申請および認定の履歴が時系列に確認できる。	○	×	◎			
	9.2.【母子保健】 育児医療管理機能	9.2.2.	0190366	申請情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと その他任意の統計データが抽出できる。	○	×	◎			
		9.3.1.	0190367	判定結果情報を管理（登録・変更・削除・照会）できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_09.【母子保健】育児医療管理」〔育児医療申請情報〕参照 指定医療機関として、医療機関を一覧から選択して入力できる。 指定医療機関を入力することで、その機関の住所、電話番号が自動で入力される。 審査の結果、不認定となった者を入力できる。	○	×	◎			
	9.3.【母子保健】 育児医療管理機能	9.3.2.	0190368	判定結果情報を登録時、診療予定期間及び有効期間の開始日と終了日の整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	○	×	◎			
		9.4.1.	0190369	育児医療実績情報を管理（登録・変更・削除・照会）できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_09.【母子保健】育児医療管理」〔育児医療実績情報〕参照 医療給付の実績情報を管理できる。	○	×	◎	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 12 母子保健法による育児医療の給付又は育児医療に要する費用の支給に関する情報		
	9.4.【母子保健】 育児医療管理機能	9.4.2.	0190370	育児医療実績情報を登録時、診療年月が医療券の有効期間内であるかチェック（エラー・アラート）ができること。	○	×	◎			
		-	0190530	育児医療実績情報を登録時、同一の給付情報が既に登録済みでないかチェック（エラー・アラート）ができること。 ※1 診療年月、医療機関、入院・食事・通院別が同一の給付情報の重複について確認すること ※2 レセプト区分が過誤・返戻・再審査の場合は除く	○	×	◎			
	9.4.【母子保健】 育児医療管理機能	9.4.3.	0190371	育児医療実績情報は国保連合会から送付される医療給付データを使用して登録できること。 社会保険診療報酬支払基金および国民健康保険団体連合会の医療給付データ（CSV形式）の取り込みができる。	○	×	○	国保連合会の医療給付データに関しては都道府県で仕様異なるケースが想定されることから標準オプション機能としている。		
		-	0190531	育児医療実績情報は支払基金から送付される医療給付データを使用して登録できること。	○	×	◎	ファイル取込みの対象となるファイルは、社会保険診療報酬支払基金より提供される連名簿（CSV形式）とする。		
	9.4.【母子保健】 育児医療管理機能	9.4.4.	0190372	医療給付データ取込時にエラーチェックを行い、エラーリストを出力できること。 ※1 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内訳はリストとして出力できること ※2 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること	○	×	◎			
		9.5.1.	0190374	育児医療給付実績を一覧で確認できること（EUCができること）。 医療給付実績を時系列に確認できる。	○	×	◎			
	9.5.【母子保健】 育児医療管理機能	9.5.2.	0190375	育児医療実績情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。 ※1 健康管理共通に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	×	◎			
		9.5.3.	0190376	育児医療給付決定情報を一覧で確認できること（EUCができること）。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけでなくファイル（PDF）としても出力できる。	○	×	◎			
	9.6.【母子保健】 育児医療管理機能	9.6.1.	0190377	■帳票詳細要件01■ 「育児医療給付台帳」の出力ができること。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけでなくファイル（PDF）としても出力できる。	○	×	◎			
		9.6.2.	0190378	■帳票詳細要件02、03■ 「育児医療券」の出力ができること。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけでなくファイル（PDF）としても出力できる。	○	×	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（決定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 （保育施設以外）	母子保健 （保育施設のみ）			
9.【母 子保 健】養 育医療 管理	9.6.帳 票出力 機能	9.6.3.	0190379	養育医療給付決定通知書の出力ができること（機能100190126に準じて出力）。 ※1 保護者及び医療機関向けの送付用シールの出力も含む 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけでなくファイル（PDF）としても出力できる。	○	×	○			
9.【母 子保 健】養 育医療 管理	9.6.帳 票出力 機能	9.6.4.	0190380	卸下となった方への通知が出力できること（機能100190126に準じて出力）。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけでなくファイル（PDF）としても出力できる。	○	×	○			
9.【母 子保 健】養 育医療 管理	9.6.帳 票出力 機能	9.6.5.	0190381	継続協議承認書、継続協議承認書送付分（保護者・医療機関宛）が出力できること（機能100190126に準じて出力）。 別紙帳票一覧の帳票出力ができる。 帳票出力に関しては、紙だけでなくファイル（PDF）としても出力できる。	○	×	○			

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第3.1版】」>3.本仕様の内容>（1）標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 特記を要する機能
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	10.1.1.	0190382	予防接種種類>接種回数ごとに接種対象者を、指定条件で抽出し、一覧を確認できること（EUCができること）。 ※1 各接種の接種／罹患を参照した抽出ができること ※2 生涯接種可能回数を参照した抽出ができること ※3 同一接種種類の接種間隔を参照した抽出ができること ※4 異なる接種種類の接種間隔を参照した抽出ができること 予防接種法、定期の予防接種実施要領に従った各予防接種の対象者を抽出できる。 基準日を任意に指定して、年齢や生年月日で対象者を抽出できる。 。住基情報（年齢など）に加えて、各予防接種の接種・未接種（複数接種選択）を条件に抽出ができる。 例）6歳以下で麻疹・風しん両方とも未接種の人 抽出の際には、複数回接種の予防接種については、指定回数を条件に抽出ができる。 例）不活化ポリオの1回目・2回目の両方を受けている人	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種デジタル化を踏まえ中項目名を変更した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	-	0190532	機能ID0190382に加え、以下ができること。 ※1 身体障害者手帳情報を参照した抽出ができること。	○	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	10.1.2.	0190384	資格情報を参照し、自己負担減免対象者を抽出できること（EUCができること）。 ・住民税 ・生活保護	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者抽出機能	10.1.3.	0190385	新型コロナウイルスの対象者情報について、ワクチン接種記録システム（VRS）への情報提供用ファイルが作成できること。 ※1 IFはデジタル庁発出の事務連絡内、【別紙】データフォーマット「接種対象者登録」に規定	×	VRSへの対象者情報連携に関しては、住民記録台帳もしくは予防接種台帳のいずれから連携を行う方針となっているため、標準オプション機能としている。	VRSにおいて令和6年度以降の定期接種に係る登録機能が廃止されていること、また、新型コロナウイルスについても予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムでの管理対象となっていることから、機能を削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	-	0190608	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに予防接種対象者情報提供後、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムで予防接種対象者ごとに採番された予防接種管理番号の情報を受領し確認できること。 ※1 「IFID SIF_A01_002 予防接種管理情報の取得（JSON）」「IFID FIF_A01_002 予防接種管理情報の取得（CSV）」に準拠すること	○	・マイナポータルで動要する対象者リストを地方自治体で確認し、必要に応じてリストの加除を行う機能である。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所「【業務フロー】A.予防接種対象者の登録・通知」ファイル 16ページ A-1：接種対象者情報の登録（出生・転入） 4：健康管理システムへの予防接種管理情報連携 上記等にて予・請求システムから健康管理システムへ、予防接種管理情報受領タスクがあり、予防接種管理番号の連携が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムで採番された予防接種管理番号を、地方自治体が健康管理システムで確認するために必要な機能であることから新規追加した。 <3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 利用意向のある自治体が利用できるように実装必須から標準オプションに修正した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	-	0190609	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、動要対象候補者リストを受領し確認できること。 ※1 動要対象者の加除ができること ※2 「IFID 007 動要用リストの要求」「IFID 008 マイナポ動要用リストの受信」に準拠すること	◎	・マイナポータルで動要する対象者リストを地方自治体で確認し、必要に応じてリストの加除を行う機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムで抽出された動要対象候補者リストを、地方自治体で確認する運用の場合に必要な機能であるため新規追加した。 ※具体的な適合基準日は、R7.1の3.1版で定める予定。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	-	0190610	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、除外者としてされているリストを受領し確認できること。 ※1 「IFID 011 除外者リストの要求」及び「IFID 012 除外者リストの受信」に準拠すること	◎	・上記機能で受領する「動要対象候補者リスト」には除外者が含まれないため、自治体において、除外される対象者を把握するための機能である。	<3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 動要機能は予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムの機能を使用する方針となったことを受け削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	-	0190611	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、健康管理システムで編集した動要対象候補者リストを、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに提供できること。 ※1 「IFID 010 マイナポ動要用リストの送信」に準拠すること（上記IFは予・請求システム→健康管理システムのIFであるが、逆方向のIFとなる想定である）	◎	・地方自治体で編集した対象者リストを、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに返却する機能である。		
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	-	0190612	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、マイナポータルで動要した接種動要結果情報を、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに要求できること。 ※1 「IFID 004 接種動要結果の要求」に準拠すること	◎	・マイナポータルで動要した結果を、健康管理システムで確認できる機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> マイナポータルで動要した結果を健康管理で活用可能とするために必要な機能であるため新規追加した。 ※具体的な適合基準日は、R7.1の3.1版で定める予定。 <3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 動要機能は予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムの機能を使用する方針となったことを受け削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	-	0190613	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、マイナポータルで動要した接種動要結果を、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、受領し確認できること。 ※1 「IFID 005 接種動要結果の受信」に準拠すること	◎	・マイナポータルで動要した結果を、健康管理システムで確認できる機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> マイナポータルで動要した結果を健康管理で活用可能とするために必要な機能であるため新規追加した。 ※具体的な適合基準日は、R7.1の3.1版で定める予定。 <3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 動要機能は予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムの機能を使用する方針となったことを受け削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.1.【予防接種】対象者管理機能	-	0190614	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、マイナポータルでの動要を実施しない動要対象者リストを、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから、受領し確認できること。 ※1 「IFID 009 マイナポ以外からの動要用リストの受信」に準拠すること	◎	・マイナポータルでの動要を実施しない動要対象者リストを、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに要求し、健康管理システムで受領・確認できる機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> マイナポータルでの動要を実施しない動要対象者リストに対して、地方自治体で動要を実施する際に必要な機能であるため式追加した。 ※具体的な適合基準日は、R7.1の3.1	

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 留意を希求する機能
10.【予防接種】対象者管理	10.1. 勤奨管理機能	-	0190615	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、マイナポータルでの勤奨を実施しない勤奨対象者リストに対して、健康管理システムで勤奨した結果情報を、予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムに提供できること。 ※1 「IFID 006 接種勤奨結果の送信」に準拠すること	◎		版で定める予定。 <3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 勤奨機能は予防情報・予防接種記録管理／請求支払システムの機能を使用する方針となったことを受け削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	10.2.1.	0190616	住民ごとに予防票発行情報の管理（登録・更新・削除・照会）ができること。 ※1 風しんの追加的対策のクーポン券も含まれる 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_10.【予防接種】対象者管理」[予防票発行情報]参照	◎	【対象者であることを確認できる地方自治体が発行する何等かの帳票】を便宜的に「予防票」と表記している。接種券等、他に該当する帳票がある場合はそちらが該当することとなり、適宜読み替えを行うこと。「10.2 個別発行機能」についてすべて同様とする。	新型コロナウイルス定期接種化に伴い、臨時接種（新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き）に基づく記載を削除した。 旧機能IDは0190386である。	
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	10.2.1.	0190387	予防票発行情報を一括で登録できること	◎	ファイル取込ではなく、オンライン上で複数件数を同時登録する機能である。		
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	10.2.2.	0190388	予防票発行時に、各接種情報を参照可能であること。	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190551	予防票発行時に、接種資格に影響する資格情報の確認ができること。 ・身体障害者手帳	○			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190535	予防票発行時に、自己負担金に影響する資格情報の確認ができること。 ・住民税 ・生活保護	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190552	予防票発行時、同一予防接種が接種済み（二重接種）がチェックを行い、既に接種済みの場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。 ※1 他自治体での接種情報も含めてチェックができること ※2 生涯接種可能回数を踏まえた（二重接種が不可の範囲を）チェックとすること。たとえば、日本脳炎のように1回ずつ接種可能な複数の回数がある場合は、同一回数が接種済みかをチェックする。高齢者インフルエンザのように、生涯で同一回数を複数回接種可能な場合は、同一年度内の接種歴のみチェックとすること	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190553	予防票発行時、接種対象が罹患済みがチェックを行い、既に罹患済みの場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	○			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	-	0190554	対象年齢（有効期限）のチェックを行い、不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.2. 個別発行機能	10.2.3.	0190389	他市町村・医療機関等への接種依頼の管理（登録・更新・削除・照会）ができること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_10.【予防接種】対象者管理」[他市町村・医療機関等への接種依頼]参照	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.1.	0190391	予防票が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎			
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.1.	0190617	予防票が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 接種対象者番号を識別できる情報を印字できること	◎	マイナポータルでの勤奨を実施しない対象者への送付や再発行を想定した機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 地方自治体で発行した予防票を医療機関に持参した際に個人特定が可能となるよう、接種対象者番号を識別できるものを印字する要件を追加した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	-	0190536	予防票が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 定期接種実施要領に基づいた多言語での出力に対応できること	○	・マイナポータルでの勤奨を実施しない対象者への送付や再発行を想定した機能である。 ・地方自治体によって必要となる言語が異なることが想定されるため、定期接種実施要領で例示されている言語すべてに対応している必要はない。日本語以外に1言語以上対応できれば要件を満たしているとは言える。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化により、勤奨フローが変更となるため、補足を追記した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.2.	0190392	予防票貼付シールが出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○			
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.2.	0190618	予防票貼付シールが出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 接種対象者番号を識別できる情報を印字できること	○	マイナポータルでの勤奨を実施しない対象者への送付や再発行を想定した機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 地方自治体で発行した予防票を医療機関に持参した際に個人特定が可能となるよう、接種対象者番号を識別できるものを印字する要件を追加した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.3.	0190393	案内（通知）が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○	マイナポータルでの勤奨を実施しない対象者への送付や再発行を想定した機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化により、勤奨フローが変更となるため、補足を追記した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.4.	0190394	新型コロナウイルスワクチンの接種券（接種券（兼）接種済証）が出力できること。 ※1 接種券（兼）接種済証の接種済証まで含む ■帳票詳細要件02、03■ 新型コロナウイルスワクチン接種の接種券	×	初回接種の接種券について、3回目を単独の用紙で印刷する運用の場合は、追加接種（帳票詳細要件03）の様式を参照すること。	新型コロナウイルス定期接種化に伴い、臨時接種（新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き）に基づく記載を削除した。	
10.【予防接種】対象者管理	10.3. 帳票出力機能	10.3.5.	0190395	新型コロナウイルスワクチンの接種券（接種券一体型予防票）が出力できること。 ※1 接種券一体型予防票の接種券部分が当要件に該当する ■帳票詳細要件01■ 新型コロナウイルスワクチン接種の接種券	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 留意を希求する機能
10. 【予防 接種】 対象者 管理	10.3. 帳票出 力機能	10.3.5.	0190396	新型コロナワクチンの予診票が出力できること。 ※1 接種券一体型予診票の接種券部分以外が当要件に該当する ■帳票詳細要件04■ 新型コロナワクチン接種の予診票	×			
	10.3. 【予防 接種】 対象者 管理	10.3.6.	0190397	新型コロナワクチンの接種済証が印刷できること。 ※1 接種券一体型予診票の場合に、接種券とあわせて発行する接種済証が当要件に該当する。（接種後の証明書類はVRSの機能、機能ID0190422、機能ID0190423のいずれかを使用すること。） ■帳票詳細要件06、07■ 新型コロナワクチンの接種済証	×			
	10.3. 【予防 接種】 対象者 管理	10.3.7.	0190398	予防接種実施依頼書を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
	10.3. 【予防 接種】 対象者 管理	10.3.8.	0190399	風しん追加的対策におけるクーポン券が出力できること。 ■帳票詳細要件01■ 風しん追加的対策クーポン券 ※1 帳票詳細要件及び帳票レイアウトは、案内文書との統合様式にて示す。案内文書とクーポン券が別用紙（長形3号封筒用サイズ）の場合、クーポン券部分が様式を満たしていればよい。（長形3号封筒用サイズの帳票詳細要件及び帳票レイアウトは割愛している）	◎	風しん追加的対策は時限事業であるため、事業が終了した場合は実装不可とする想定	新型コロナワクチン定期接種化対応の修正に伴い、帳票詳細要件の番号を変更した。	

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 留意を希望する機能
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.【予防接種】接種情報管理機能	11.1.1.	0190400	住民ごとに予防接種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 「予防接種情報」には、接種の結果だけではなく、予防や罹患等の情報も含む。以降要件についても同じ。 ※2 他自治体で受けた接種情報についても管理が行えること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」の以下参照 [各種予防接種の接種実績] [風疹抗体検査実績] [罹患情報] 現在実施中の予防接種の情報（接種日、接種判定、医療機関名、ロットNo、調停日、特記事項）を管理できる。 各予防接種の予診票の情報を管理できる。 各予防接種の同時接種の情報を管理できる。 ワクチンの情報（予防接種名、ロットNo、製薬会社、ワクチン名、検定合格日、有効年月日）が管理できる。 同一の予防接種において、異なるワクチン種別（HPVなど）がある場合には、それぞれ管理できる。 同一年度内に複数接種を行った場合（高齢者インフルエンザ）にも情報を管理できる。 接種名・接種時期・ワクチン情報の有無を同一画面に表示できる。 予防接種の結果情報の詳細を別ウィンドウで表示することができる。 接種可能だが未接種のワクチンを一目で確認できる。	◎	管理項目は、以下データ標準レイアウトのデータ項目を基準としている。詳細は別紙2-2参照 84 予防接種法による予防接種の実施に関する情報	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化後は、各種予防接種の接種実績は、医療機関から予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムへの登録を想定しており、健康管理システムで登録する運用はなくなり、照会のみとなる。そのため機能ID0190620実装後は当機能は実装不可となる想定である。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.【予防接種】接種情報管理機能	11.1.1.	0190619	住民ごとに予防接種情報を管理（登録・更新・削除・照会）できること。 ※1 風疹抗体検査実績、罹患情報を管理する機能である。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」の以下参照 [風疹抗体検査実績] [罹患情報]	◎		<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化後は、各種予防接種の接種実績は、医療機関から予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムへの登録を想定しており、健康管理システムで登録する運用はなくなり、照会のみとなるため修正した。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.【予防接種】接種情報管理機能	-	0190620	住民ごとに、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムから取得した接種記録を表示できること。 ※1 データの参照、取り込みは問わず、照会した情報を健康管理システムで利用できること 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」の以下参照 [各種予防接種の接種実績]	◎	・管理項目は今後IFに変更される予定である。 ・予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所「【業務フロー】H_その他」ファイル14ページ H-3：接種記録の連携・照会・閲覧 1：接種記録の連携 上記等にて予予・請求システムから健康管理システムへ、接種記録連携が想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化後は、各種予防接種の接種実績は、医療機関から予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムへの登録を想定しており、健康管理システムで登録する運用はなくなるため、照会機能を新規追加した。	
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.【予防接種】接種情報管理機能	11.1.3.	0190402	同一世帯員の予防接種情報を参照できること。	◎			
11.【予防接種】接種情報管理	11.1.【予防接種】接種情報管理機能	11.1.4.	0190403	照会時に接種可能時期に完了していない予防接種が確認できること。 接種可能だが未接種のワクチンを一目で確認できる。 接種可能時期に接種完了できていない接種を画面表示できる。 接種可能な期間（対象年齢）を過ぎているにも関わらず、未接種のワクチンに対して警告表示される。 定められた接種間隔や接種時期に沿って接種が行われていない接種記録に対して、他の接種記録と色分けして表示される。	◎			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実験区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 落敷を希道する機能
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.6.	0190405	<p>予防接種情報を一括で登録できること。</p> <p>※1 入力に際して、次の項目はバーコードを使用した登録が行えること。 ・宛名番号 ・予防接種の種類 ・接種回数</p> <p>入力は、一括入力画面より事業を中心に複数人繰って入力できる。 （複数人の抽出は、予約者・更新日・生年月日・年齢・受診日などの条件を使用できる。） 各予防接種の入力時に同一条件（接種、接種日、ロットNo）の対象者を一括で入力できる。 対象者リストの画面表示ができる。 一括で入力する際は、初期条件（接種日）の設定ができる。</p>	○	<p>・予診票に記載される情報のうちバーコード化が可能と想定される項目を※で定義している。 ・ファイル取込ではなく、オンライン上で複数件数を同時登録する機能である。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	-	0190537	<p>予防接種情報を連続で登録できること。</p> <p>※1 入力に際して、次の項目はバーコードを使用した登録が行えること。 ・宛名番号 ・予防接種の種類 ・接種回数</p>	○	<p>・複数件数を同時登録するのではなく、予防接種の種類や接種日等を一度入力すれば、2件目以降入力を省略して連続的に単件登録できるような機能である。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		対象機能
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.7.	0190406	<p>OCR処理等を介して、予防接種情報を電子化したファイルの取り込みができること。</p> <p>※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること</p> <p>自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。</p>	○	<p>・※1は紙文書をスキャナで読み込み、書かれている文字等を認識してデジタル化するOCR機能自体は実装不可という意味である。本機能要件は、スキャナのOCR機能等で読み取った後に生成されるファイル等を取り込む要件である。 ・OCR機能を用いたデータ取り込み機能に関する要件であるが、地方自治体の運用により必要有無が分かれるため、標準オプション機能としている。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.8.	0190407	<p>OCR処理等を介して読み取った機票のイメージファイルを電子ファイルで保存し、参照ができること。</p> <p>※1 健康管理システムにOCRエンジンを組み込むことは不可とする。</p> <p>【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_管理項目_01.【共通】」[電子ファイル]参照</p> <p>個人に紐付けて電子データの管理ができる。</p>	○			
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.9.	0190408	<p>予防接種情報ファイルを一括して取り込みできること。</p> <p>※1 新型コロナワクチンに関しては、ワクチン接種記録システムから提供されるファイルの場合もある。IFはデジタル庁発出の事務連絡内。【別紙】データフォーマット「予防接種台帳向け出力」に規定 ※2 登録時にはデータ登録時チェックに関する機能要件を実施し、エラー内容はリストとして出力できること ※3 エラーリスト、及びエラー内容は保存でき呼び出すことができること</p> <p>自動入力を行う際のマッチングキーは基本的に宛名番号とするが、宛名番号がない場合も生年月日、性別、カナ氏名を用いてマッチングできる。 自動入力処理後に、削除したい場合、取り込みデータを削除できる。 自動入力処理後に、元ファイルを削除するように設定している場合、自動入力処理後、ファイルを削除して良いか確認のメッセージが表示できる。 自動入力のインターフェースは、変更が入ることを想定して、レイアウト、コード、取込項目がパラメータで設定変更できる。 自動入力時にチェックをおこない、正常登録、更新エラー、項目エラー（一部項目がエラーのため未入力）が表示できる。</p>	○	<p>予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.10.	0190409	<p>エラー対応後再度取込処理を実施できること。</p>	○	<p>予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.11.	0190410	<p>予防接種情報登録時、前回接種歴との間隔チェックを行い、間隔が不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。</p> <p>※1 同一接種種類の接種間隔についてチェックを実施すること ※2 異なる接種種類の接種間隔についてチェックを実施すること ※3 チェックは予防接種実施規則および定期接種実施要領に基づいていること ※4 間隔チェックが行えないような場合（前回接種歴等必要情報が欠損している、避けて結果を登録する等）についても、間隔不正の対象となること</p> <p>入力時に接種間隔に対してエラーチェックができる。</p>	◎	<p>予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.12.	0190412	<p>予防接種情報登録時、対象年齢のチェックを行い、接種日時点年齢が不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。</p> <p>入力時に接種間隔に対してエラーチェックができる。</p>	◎	<p>予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.12.	0190413	<p>予防接種情報登録時、対象年齢のチェックを行い、接種日時点年齢が不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。</p> <p>※1 長期療養等、特例により期間を延長して接種を受けたものが考慮できること</p> <p>入力時に接種間隔に対してエラーチェックができる。</p>	○	<p>予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	-	0190538	<p>予防接種情報登録時、接種日時で住民であるかチェックを行い、住民でなかった場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。</p>	◎	<p>予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	-	0190539	<p>予防接種情報登録時、予診票の発行が行われているかチェックを行い、発行されていない場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。</p>	○	<p>・「予診票」の定義については機能ID00190616を参照すること。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	-	0190540	<p>予防接種情報登録時、予防接種の種類・製造販売業者（ワクチンメーカー）・接種液の製造番号（Lot番号）の整合性が取れているかチェックを行い、不正の場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。</p>	○	<p>予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定</p>		

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 留意を希す機能
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.13.	0190414	接種間隔や対象年齢が不正な状態で登録された予防接種情報を一覧で確認できること（EUCができること）。 各予防接種のエラー条件を設定することで、入力後に一括でエラーチェック（年齢、接種間隔、指定期間外）ができる。	◎	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	11.1.14.	0190415	予防接種情報登録時、同一予防接種が接種済み（二重接種）かチェックを行い、既に接種済みの場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。 ※1 他自治体での接種情報も含めてチェックができること ※2 生涯接種可能回数を踏まえた（二重接種が不可の範囲を）チェックとすること。たとえば、日本脳炎のように1回ずつ接種可能な複数の回数がある場合は、同一回数が接種済みかをチェックする。高齢者インフルエンザのように、生涯で同一回数を複数回接種可能な場合は、同一年度内の接種歴のみチェックとすること 入力時に二重接種に対してエラーチェックができる。	◎	・※1の他自治体での接種情報に関しては、情報照会や聞き取り等、把握できた場合に情報を登録しておくことで、チェックが行えることを想定している。 ・予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.1. 接種情報 管理 機能	-	0190555	予防接種情報登録時、接種対象が罹患済みかチェックを行い、既に罹患済みの場合は整合性チェック（エラー・アラート）ができること。	○	予防接種デジタル化の運用開始後は実装不可機能とする想定		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.2. 接種結果一括 参照機能	11.2.1.	0190416	接種種類ごとに、接種結果情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.2. 接種結果一括 参照機能	-	0190541	複数接種種類まとめて、接種結果情報を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.2. 接種結果一括 参照機能	11.2.2.	0190417	接種種類ごとに、未接種者を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.2. 接種結果一括 参照機能	-	0190542	複数接種種類まとめて、未接種者を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.2. 接種結果一括 参照機能	11.2.3.	0190418	接種情報に対して、指定した条件により一覧をEUC機能を利用して確認できること。	◎			
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.3. 接種結果提供 機能	11.3.1.	0190419	新型コロナワクチンの接種情報について、ワクチン接種記録システム登録用のファイル作成ができること。 ※1 IFはデジタル庁発出の事務連絡内、【別紙】データフォーマット「予防票一括登録」に規定	×		VRSIにおいて令和6年度以降の定期接種に係る登録機能が廃止されていること、また、新型コロナワクチンについても予防情報・予防接種記録管理/請求支払システムでの管理対象となっていることから、機能を削除した。	
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.4. 健康被害救済 制度	11.4.1.	0190420	健康被害救済制度について、申請から認定の状況を管理（登録・更新・削除・照会）ができること。 【管理項目】 「（別紙2-2）管理項目_11.【予防接種】接種情報管理」[健康被害救済制度情報]参照	○	予防接種法に健康被害救済制度に関する内容が明記されていることに加え、今後新型コロナワクチン接種による健康被害状況が不透明であることから情報の管理要件を標準オプション機能として記載している。		
11. 【予防 接種】 接種情報 管理	11.4. 健康被害救済 制度	11.4.2.	0190421	健康被害救済制度について、申請から認定の状況を一覧で確認できること（EUCができること）。	○			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実証区分	要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、留意を希求する機能
11. 【予防接種】 接種情報管理	11.5. 帳票出力機能	11.5.1.	0190422	接種履歴を証明する帳票（接種済証）を出力できること。 ■帳票詳細要件01■ 予防接種済証（定期） ■帳票詳細要件02■ 予防接種済証（臨時）	○	・機能ID0190422,機能ID0190621は予防接種法施行規則にて定められている様式の出力機能である。任意様式の証明書類（例：母子手帳に代えられる子どもの履歴が一覧形式となっているもの等）の出力機能は、機能ID0190423となる。 ・機能ID0190422,機能ID0190621,機能ID0190423においては、予防接種法施行規則に基づき、当該地方自治体の事業として行った接種のみを出力（証明）する。（例えば、転入前の接種は対象外となる。）	新型コロナウイルス定期接種に伴い、要件の考え方・理由から、臨時接種（新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き）に基づく記載を削除した。	
11. 【予防接種】 接種情報管理	11.5. 帳票出力機能	-	0190621	接種履歴を証明する帳票（接種済証）を出力できること。 ■帳票詳細要件03■ 予防接種済証（臨時・英語版）	○			
11. 【予防接種】 接種情報管理	11.5. 帳票出力機能	-	0190622	JSONまたはCSVデータの自動API連携により、接種済証交付記録を予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムに提供できること。 ※1 「IFID SIF_H05_002 接種済証交付記録の連携（JSON）」「IFID FIF_H05_004 接種済証交付記録の連携（CSV）」に準拠すること	○	・機能ID0190622についての、予防接種デジタル化全体フロー（3.0版の参考資料）の対応箇所 「【業務フロー】H_その他」ファイル21ページ H-5：接種済証の発行 2：予防接種済証の交付（書面） （2/2）上記にて健康管理システムから予予・請求システムへ接種済証交付記録の登録要求タスクが想定されていることを受けての機能である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムやマイナポータル上で、接種済証を発行する機能が検討されているが、自治体窓口での紙での発行も残る想定である。窓口で発行した場合に、予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムで発行情報を管理するための機能を新規追加した。	
11. 【予防接種】 接種情報管理	11.5. 帳票出力機能	11.5.2.	0190423	個人の接種履歴を確認できる帳票（接種記録票）を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	○		<3.1版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 利用意向のある自治体が利用できるように実装必須から標準オプションに修正した。	
11. 【予防接種】 接種情報管理	11.5. 帳票出力機能	11.5.2.	0190424	個人の接種履歴を確認できる帳票（接種記録票）を出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 定期接種実施要領に基づいた多言語での出力に対応できること。	○	地方自治体よって必要となる言語が異なることが想定されるため、定期接種実施要領で例示されている言語すべてに対応している必要はない。日本語以外に1言語以上対応できれば要件を満たしていると言える。		
11. 【予防接種】 接種情報管理	11.5. 帳票出力機能	11.5.3.	0190425	予防接種台帳を一覧で確認できること（EUCができること）。	◎			
11. 【予防接種】 接種情報管理	11.5. 帳票出力機能	11.5.4.	0190426	未接種者勧奨通知が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。	◎	予診情報・予防接種記録管理／請求支払システムでの勧奨が中心となるが、市町村にて紙で勧奨する際に、当機能を使用する想定である。	<3.0版における予防接種事務デジタル化に係る改定> 予防接種事務デジタル化により、勧奨フローが変更となるため、補足を追記した。	
11. 【予防接種】 接種情報管理	11.5. 帳票出力機能	11.5.5.	0190427	接種時期推奨表が出力できること（機能ID0190126に準じて出力）。 ※1 接種済の予防接種は、接種日を印字できること	○	接種時期推奨表とは、各予防接種を受ける標準的な接種時期等が一覧的に分かるようなものが想定される。具体的な様式・用途は任意である。		
11. 【予防接種】 接種情報管理	11.6. マスタ管理機能	11.6.1.	0190428	接種液に関する情報（接種種類、製造販売業者（ワクチンメーカー）、接種液の製造番号（Lot番号）等）をマスタ情報として管理（登録・更新・削除・照会）できること。	○			

健康管理システム

【実装区分】◎：実装必須機能、○：標準オプション機能、×：実装不可機能

※本資料に記載の機能要件は国資料の「健康管理システム標準仕様書【第1.1版】」>3. 本仕様の内容> (1) 標準化範囲内の類型に記載の「類型1（実装必須機能）、類型3（標準オプション機能）」について、システムの実装方法は問わない。」という考え方に則り記載をしています。

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実装区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 搭載を希望する機能
					健康管理システム	母子保健 (産育医療以外)	母子保健 (産育医療のみ)			
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.1.	0190431	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 ＜地域保健事業報告＞ 1 健康診断 9 予防接種 ※1 集計母体は上記としつつも、標準範囲外と整理された事業に関連する集計項目は計上しない ※2 集計機能となった該当情報をEUC機能を利用して出せること 地域保健・健康増進事業報告集計をExcel形式で出力できる。 毎年の地域保健・健康増進事業報告集計の様式に合わせて出力できる。 事業報告集計処理後に集計結果ファイルを画面表示できる。 事業報告集計処理後の集計結果のセル（人数）を押下することで、セル毎の対象者を画面表示できる。 対象者表示画面にて、抽出条件、キー情報、対象項目、クロス集計項目など、集計に使用した条件・項目を画面表示できる。 セル単位で、集計設定を修正し再集計できる。 集計設定後に、集計結果をExcel形式で再出力できる。	◎	×	×			
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	-	0190543	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 ＜地域保健事業報告＞ 2 (1) 母子保健（妊娠の届出） 2 (2) 母子保健（健康診査） 2 (3) 母子保健（保健指導） 2 (4) 母子保健（訪問指導） 3 歯科保健 4 (1) 健康増進（栄養・運動等指導） ※1 集計母体は上記としつつも、標準範囲外と整理された事業に関連する集計項目は計上しない ※2 集計機能となった該当情報をEUC機能を利用して出せること	◎	◎	×			
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.1.	0190432	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 ＜地域保健事業報告＞ ※1 国指定のExcel様式で出力できること 地域保健・健康増進事業報告集計をExcel形式で出力できる。 毎年の地域保健・健康増進事業報告集計の様式に合わせて出力できる。 事業報告集計処理後に集計結果ファイルを画面表示できる。 事業報告集計処理後の集計結果のセル（人数）を押下することで、セル毎の対象者を画面表示できる。 対象者表示画面にて、抽出条件、キー情報、対象項目、クロス集計項目など、集計に使用した条件・項目を画面表示できる。 セル単位で、集計設定を修正し再集計できる。 集計設定後に、集計結果をExcel形式で再出力できる。	○	○	×			
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.2.	0190433	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 ＜健康増進事業報告＞ 15 (1) 健康増進（健康増進事業等の対象者） 15 (2) 健康増進（健康教育） 15 (3) 健康増進（健康相談） 15 (4) 健康増進（健康増進法施行規則第4条の2に基づく健康診査） 15 (5) 健康増進（歯周疾患検診・骨粗鬆症検診） 15 (7) 訪問指導 15 (8) 健康増進（がん検診） 15 (9) 健康増進（肝炎ウイルス検診） ※1 集計機能となった該当情報をEUC機能を利用して出せること 地域保健・健康増進事業報告集計をExcel形式で出力できる。 毎年の地域保健・健康増進事業報告集計の様式に合わせて出力できる。 事業報告集計処理後に集計結果ファイルを画面表示できる。 事業報告集計処理後の集計結果のセル（人数）を押下することで、セル毎の対象者を画面表示できる。 対象者表示画面にて、抽出条件、キー情報、対象項目、クロス集計項目など、集計に使用した条件・項目を画面表示できる。 セル単位で、集計設定を修正し再集計できる。 集計設定後に、集計結果をExcel形式で再出力できる。	◎	×	×			
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.2.	0190434	地域保健・健康増進事業報告の各集計表の集計値を出せること。 ＜健康増進事業報告＞ ※1 国指定のExcel様式で出力できること 地域保健・健康増進事業報告集計をExcel形式で出力できる。 毎年の地域保健・健康増進事業報告集計の様式に合わせて出力できる。 事業報告集計処理後に集計結果ファイルを画面表示できる。 事業報告集計処理後の集計結果のセル（人数）を押下することで、セル毎の対象者を画面表示できる。 対象者表示画面にて、抽出条件、キー情報、対象項目、クロス集計項目など、集計に使用した条件・項目を画面表示できる。 セル単位で、集計設定を修正し再集計できる。 集計設定後に、集計結果をExcel形式で再出力できる。	○	×	×			
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.4.	0190436	各種統計資料（都道府県集計、市区町村独自集計、国庫負担金交付が必要となる集計等）をEUC機能を利用して作成できること。 ※1 集計値、または、集計に必要な一覧が出せること ※2 集計条件を保存でき、集計時に呼び出して使用できること ※3 集計機能となった該当情報をEUC機能を利用して出せること 抽出した対象者については複数年度のデータを一括で集計できる。 集計表は、行・列項目にシステム内のコード化された全ての情報を使用して、任意に設定できる。 一度設定した集計の条件をシステム内にパターン登録できる。 登録された集計の条件を呼び出した後も、自由に条件を変更できる。 作成された集計表の内訳を縦横、横横それぞれを基準にして%表示ができる。 数値データ（血圧、年齢など）の数値間隔は自由に設定できる。 集計結果を画面表示後、各セルの人数をクリックすると該当者が一覧で表示される。 集計データはCSV形式又はExcelに変換できる。 システム内のコード化されたすべての数値項目で基礎統計を算出できる。 基礎統計については、合計値・平均値・中央値・最大値・最小値・標準偏差ができる。 基礎統計は度数分布図をワンクリックで自動作成できる。 性別別、町内会別、年齢別、保険別で人口集計処理ができる。 人口集計処理結果は画面表示、帳票、CSVに出力できる。 予防接種別の集計結果を画面表示できる。 年齢別の集計結果を画面表示できる。 医療機関毎の集計結果を画面表示できる。	◎	◎	◎			
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.5.	0190438	各がん検診、歯周疾患検診、骨粗鬆症検診において、がん検診の精度管理指標に関する以下の集計値を出せること。 精検受診率 未把握率 精検未受診率 精検未受診・未把握率 要精検率 がん発見率 陽性反応的中度 ※1 集計機能となった該当情報をEUC機能を利用して出せること	○	×	×			

大項目	中項目	小項目	機能ID	機能要件	実施区分			要件の考え方・理由	備考（改定内容等）	標準オプション機能のうち、 廃棄を希望する機能
					健康管理系统	母子保健 (養育医療以外)	母子保健 (養育医療のみ)			
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.6.	0190637	「保育医療等基本方針に基づく評価指標等に係る問診項目」の集計ができること。 ※1 集計ツール（乳幼児健診情報システム）にて利用できる形式でデータを出力、または集計値が出せること ※2 集計機能となった該当情報をEUC機能を利用して出せること	◎	◎	×		旧機能IDは0190439、0190568である。	
12. 統計・報告	12.1. 集計管理機能	12.1.7.	0190441	養育医療申請、給付実績について、福祉行政報告例の集計が出来ること ＜福祉行政報告例＞ 第22 未熟児の養育医療及び結核児童の療育の給付 ※1 集計母体は上記としつつも、標準範囲外と整理された事業に関連する集計項目は計上しない ※2 集計機能となった該当情報をEUC機能を利用して出せること	○	×	◎			